JVC

チューナーレステレビ

JL-50N4L
JL-43N4L
JL-32T4L
JL-32S4LW

取扱説明書

保証書はこの取扱説明書の P.44～P.45 についています。『お買い上げ日、販売店名、製造番号』などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

本機は地上デジタル放送や衛星放送(BS/CS)を受信するためのチューナーを搭載しておりません。テレビ放送をご視聴になる場合は、別途受信機を用意する必要があります。また、有料チャンネルを観るときは、配信会社との契約が必要です。

HDMI®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

目　次

● はじめに
安全上のご注意.....3
安全のために必ずお守りください.....3
使用上のお願い.....9
ご使用になる前に.....12

● 準備
付属品を確認する.....13
各部の名称 (本体).....14
JL-50N4L(本体前面／本体背面).....14
JL-43N4L(本体前面／本体背面).....15
JL-32T4L(本体前面／本体背面).....16
JL-32S4LW(本体前面／本体背面).....16
各部の名称 (リモコン).....17
リモコン.....17
準 備.....18
リモコンの電池の取り付け.....18
設置.....19
スタンドの取り付け.....19
転倒防止の処置.....19
壁掛け金具の取り付け.....20
映像機器・音響機器の接続.....21
インターネットの接続.....22

● 基本の操作
基本の操作.....22
電源を接続する.....22
電源をオンにする.....22
電源をオフにする.....22
操作のしかた.....22
初期設定のしかた.....23
初期設定.....23
チューナーレステレビの操作.....27
ホーム画面の操作のしかた.....27
アプリの追加（インストール）.....28
アプリの削除（アンインストール）.....28
ライブラリ.....29
映画・番組アプリなどを検索する.....29
さまざまな設定.....29
搭載されているアプリ.....30
スリープタイマーを使う.....31
省エネ設定をする.....31
ディスプレイオフ機能を使う.....31
外部接続機器を表示する.....32
入力切換をする.....32
メニューボタンから入力切換をする.....32
Googleアシスタントの設定.....33
Bluetooth の設定.....33
USB メモリーの閲覧.....34

● 調整と設定
各種設定.....35
設定できる項目.....35
設定できる項目（外部入力）.....38
アップデートのしかた.....39
ソフトウェアをアップデートする.....39
すべての情報を初期化する.....39
出荷時設定にリセットする.....39

● その他
故障かな？と思ったら.....40
主な仕様.....42
保証書.....44

お知らせ

● 本体に表示の記号は以下の通りです。

～	交流(AC)	⎓	直流(DC)
⧈	クラスⅡ機器(アース線の接続を必要としない機器)		

安全のために必ずお守りください

この製品を正しく安全にお使いいただくために、次の事項に注意してください。

■ 図記号について

■ この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。

■ 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性があるもの
⚠注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結び付く可能性があるもの

● 図記号と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

▷ **図記号の例**

	● 記号は必ずおこなっていただきたい行為を示しています。 図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと)が描かれています。
	⃠ 記号は禁止の行為であることを示しています。 図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	△ 記号は注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを示しています。 図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

▷ **図記号の意味**

	必ず指示に従い、おこなってください。		必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	絶対におこなわないでください。		絶対に分解・修理はしないでください。
	絶対に触れないでください。		絶対にぬれた手で触れないでください。
	絶対にぬらさないでください。		絶対に水場では使用しないでください。
	注意してください。		

※ この取扱説明書のイラストや画面はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

家庭用品品質表示法に基づく表示
使用上のご注意
- 内部の温度が上昇しますので、設置の際は通気のために製品の周囲に間隔をおいてください。
- 温度の高い場所や湿気の多い場所で使用しないでください。
- 感電の危険があるため、裏ぶたを開けないでください。
- ちり、ほこりをとるため内部を掃除するときは、お買い上げの販売店、電気店などにご相談ください。

表示者　群馬県高崎市栄町1番1号　株式会社ヤマダホールディングス

■ 眼精疲労について

● 長時間液晶テレビの映像を見続けると、目に疲労が蓄積されます。

⚠警告

■ ご使用になるとき

本機を屋外で使用しない

- 屋内用として設計されています。

禁止

本機をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かない

禁止

- 落下すると、重大な人身傷害や死亡の原因となることがあります。
- 特にお子様に対する多くの傷害は、以下のようなかんたんな予防措置を確実にとることで回避できます。
  - スタンドは本機に付属のスタンドを使用してください。
  - 本機を安全に保持できるテレビ台などの家具を使用してください。
  - 本機は設置するテレビ台などの家具の端からはみ出さないように設置してください。
  - 本機と家具の両方を適切な設置場所に固定することなく、背の高い家具(食器棚や書棚など)に本機を設置しないでください。
  - 本機と本機を設置するテレビ台などの家具の間には、布やその他の材質のものを敷かないでください。
  - 本機やリモコンを操作するために、本機を設置したテレビ台などの家具によじ登ることの危険性をお子様に教育してください。
  - 本機に接続するコードやケーブルを引っ掛けてつまずいたり、引っ張ったり、つかんだりしないように配線してください。
  - 本機の上や本機が置かれている家具の上に、子供がよじ登りたくなるようなもの(玩具やリモコンなど)を置かないでください。

これまで使用していたテレビを使い続ける場合や別の場所に移動する場合にも、上記と同様の対応が必要です。

本機に布団をかけたり、火のついたもの(ろうそく・線香・アロマなど)を置かない

禁止

- 熱がこもってケースが変形することがあります。また、火災や、やけどの原因となります。
- 裸火が倒れた場合は、火災の原因となります。

本機を水でぬらさない
水滴のかかる場所に置かない
水などの入った容器(花びん・植木鉢・コップ・化粧品・薬品など)を置かない

水ぬれ禁止

水場での使用禁止

- 海岸・水場や雨天・降雪時の窓辺での使用や設置に注意してください。
- 風呂場では使用しないでください。
- 内部に水が入ると、火災・感電・故障につながります。

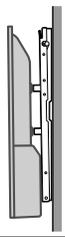
本機を改造または分解しない

改造・分解禁止

- キャビネットを分解したり、カバーや裏ぶたをはずしたりしないでください。感電の原因となります。
- 内部の点検・調整・修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

壁掛けもしくは壁寄スタンドなどをご利用される場合には、垂直な設置面に取り付け角度0°で設置する

指示

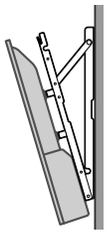


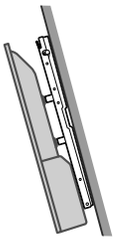
- 本機の取り付け角度は(垂直な設置面に対して)0°のみに対応しています。取り付け金具で傾けた設置をすると、テレビ本体や部品並びに接続機器等の脱落による破損だけでなく、ケガや床などが損傷する原因となります。

壁掛けもしくは壁寄スタンドなどをご利用される場合には、

禁止

- 取付金具で傾けた設置はしない
- 傾斜した設置面へは設置しない





- 取付金具で傾けた設置や、傾斜した設置面への設置をすると、テレビ本体や部品並びに接続機器等の脱落による破損だけでなく、ケガや床などが損傷する原因となります。

本機にダストスプレー(エアダスター)を使用しない

禁止

- 製品内部にガスが溜まった場合は、引火し爆発する恐れがあります。

■ 乾電池の取り扱い

乾電池を使用する場合は、被覆がやぶれたり、はがれたりしているものは使用しない

禁止

- 乾電池そのものがショートし、やけどする危険があります。

乾電池は乳幼児の手の届くところに置かない

禁止

- 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

■ 電源コード・プラグの取り扱い

電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントを使用してください。通電を遮断するには、電源プラグを抜いてください。

本機を指定(表示)された電源電圧(交流100 V)以外で使用しない

禁止

- 指定(表示)以外で使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
- 接続する前に指定の電源電圧に適合しているか、もう一度確かめてください。

電源プラグのほこりなどはとる

- 絶縁不良となり、火災・感電の原因となります。
- ほこりをとる際は、かわいた布で拭いてください。

指示

雷が鳴りだしたら電源プラグに触れない

- 落雷すると感電することがあります。

接触禁止

ぬれた手で電源コードを抜き挿ししたり、水や液体をかけたりしない

- 水は電気を通すため、感電の原因となる恐れがあります。
- 必ずかわいた手で持ってください。

ぬれ手禁止

電源コードを正しく使用する

- 束ねない　- 延長・タコ足配線しない
- 固定しない

指示

- 束ねての使用やステップルなどで固定すると内部の電線が切れて発熱し、焼損・発火の原因となります。
- タコ足配線すると発熱し、火災・故障の原因となります。

電源プラグやコードを傷つけない

- 破損させない　- 加熱しない
- 引っぱらない　- 加工しない
- 切断しない　- ねじらない
- 曲げない　- 重いものをのせない

禁止

- そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源は、必要に応じてブレーカやヒューズを設置した専用回路からとる

- 発火の原因となります。

指示

電源プラグは確実に挿し込み、抜き挿しが弱くなったものは使用しない

- 不完全な挿し込みは接触不良となり発熱・火災・感電の原因となります。
- 時々点検をしてください。

禁止

本機の開口部(通風孔など)から内部に金属類や燃えやすいものなどを挿し込まない

- 火災・感電の原因となります。
- 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

電源プラグやコードは温度や湿度の高いところ(こたつの中やサウナなど)で使用しない

- 感電・火災の原因となります。

禁止

電源プラグやコードは乳幼児が触れたり、手が届いたりするところに放置しない

- 感電の原因となります。

禁止

電源コードを動かすと電源がオンになったりオフになったりするときや、コードが部分的に熱いときは使用しない

- コード内部の電線が切れているため、使用すると感電・火災の原因となります。

禁止

本機内部に水や異物が入ったときは使うのをやめ、電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

プラグを抜く

電源コードは、本機の付属品を使用する JL-50N4L

- 指定以外の電源コードを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。付属の電源コードは国内専用です。

指示

本機に付属の電源コードを他の機器に使用しない JL-50N4L

- 他の機器に使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

■ 異常が発生したとき(電源プラグを抜く)

本機や電源コードが異常なとき(煙が出ている、異常に熱い、変なにおいがする)は使うのをやめ電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですからお買い上げの販売店にご相談ください。

プラグを抜く

本機を落としたり、キャビネットを破損したりした場合は、電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。

プラグを抜く

画面が映らない、音声が出ないなどの故障状態のときは電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。

プラグを抜く

電源プラグやコードが傷んでいる場合(刃の曲がり、プラグカバーの傷み、心線の露出、断線など)は、電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。

プラグを抜く

⚠注意

■ 設置・移動するとき

本機の開梱、スタンドの取り付けは必ず大人2人以上で作業する

- 本機にスタンドを取り付けないと製品が転倒し、ケガの原因となったり、テレビ台や床などが傷ついたりすることがあります。

指示

海水や塩害に注意

- 海辺にお住まいの方は、窓からの海水や塩害に注意してください。

塩害注意

本機を車の中で使用しない
自動車内に放置しない

- 本機は車載用ではありません。
- 車載で使用した場合は、車特有のノイズをひろい、音声や画像が乱れます。
- 窓を閉めきった自動車内では、夏場は高温になり、キャビネットが変形し、発火・発煙事故の恐れがあります。また、冬場や雨期には結露が発生し、本機の故障の原因となります。
- お車に付いているACコンセントや市販品の車載用インバータなどを使って本機を使用しないでください。

禁止

本機を次のような場所に置かない

- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 熱器具や加湿器の近く
- 直射日光の当たる場所
- 押し入れや本棚など風通しの悪い場所
- 閉めきった自動車内など高温になるところ

禁止

- 発熱による変形や火災・感電・故障の原因となります。

次ページにつづく

⚠注意

本機の上に乗ったり、ぶらさがったりしない
- バランスがくずれて倒れたり、落下したりしてケガの原因となることがあります。
- 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

本機の通風孔をふさがない
- 風通しの悪い狭い場所に置かない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスなどをかけない
- 本機の設置は、上面30 cm以上、背面20 cm以上、左右10 cm以上の間隔をおく

- 内部に熱がこもり火災の原因となります。

禁止

本機を持ち運ぶとき、振動や衝撃をあたえない
- 故障の原因となることがあります。

禁止

本機をキャスター付きテレビ台に設置する場合には、キャスター止めをする
- 動いたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。

指示

安定した場所に設置する
- 本機は安定した場所に設置してください。転倒し、ケガの原因となることがあります。

指示

■ 電源コード・プラグの取り扱い

お手入れの際、電源プラグをコンセントから抜く
- 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

プラグを抜く

次のような場合は、電源プラグをコンセントから抜いておく
- 長期間使わないとき
- 旅行をするとき

- 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

プラグを抜く

本機を移動する場合は、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線もはずす
- そのまま移動するとコードに傷がつき、火災・感電の原因となります。

プラグを抜く

電源コードを引っ張らない
- 電源プラグを抜くとき、電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。
- 必ず電源プラグを持って抜いてください。

禁止

電源コードを引き回さない
- 戸を介して別の部屋へ引き回さないでください。コード内部の電線が切れて、焼損や火災の原因となります。

禁止

電源プラグに洗剤や殺虫剤をかけない
- 発煙・発火の原因となります。

禁止

電源コードを熱器具に近付けない
- コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

禁止

■ ご使用になるとき

年に1度を目安に本機内部の掃除を依頼する
- 内部にほこりがたまったまま使用すると火災や故障の原因となることがあります。
- 内部の掃除やその費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。

指示

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力障害を起こすことがあります。

禁止

液晶パネルの破損
- 液晶パネルはガラスでできています。液晶パネルが破損したとき、ガラスの破片には直接触れないでください。ケガをする恐れがあります。

禁止

■ 乾電池の取り扱い

乾電池は正しく挿入する
- プラス(+)とマイナス(−)の向きを正しく入れる。
- 誤って挿入すると破裂・液漏れによりケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

指示

指定されていない乾電池を使用しない
- 破裂・液漏れにより、火災・ケガの原因となることがあります。

禁止

新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない
- 破裂・液漏れにより、火災・ケガの原因となることがあります。

禁止

乾電池に次のようなことはしない
- ショートさせない
- 分解・加熱をしない
- 火の中に投入しない
- 日光や火などの過度の熱にさらさない

- 破裂する危険があります。

禁止

ご使用の前に下記の内容を必ずお読みください。

置き場所や取り扱い

- 非常時をのぞいて、電源がオンの状態では絶対に電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
- 引越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃や振動を与えないでください。
- ソフトウェアのダウンロード中に本機の電源プラグを抜いたり、停電が発生したりした場合は、本機が使用できなくなります。
- 本機をレコーダーなどの近くに置くと、映像や音声が乱れるなど、故障の原因となることがあります。
- ほかの機器と近付けすぎると、機器がお互いに悪影響を与えることがあります。また、本機の近くで携帯電話を使用すると、映像や音声にノイズが入ることがありますので、本機からできるだけ離してご使用ください。
- 本機を移動する場合は、あらかじめ外部接続機器を取りはずした状態でおこなってください。
- 磁石や強い磁気を帯びたものを近づけると、映像や音声に悪影響を与えたり、記録が損なわれたりすることがあります。
- 電子レンジ、Wi-Fiルーターなどの機器を、本機に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。
- タテ置きでのご使用は故障の原因となることがありますので、お止めください。
- キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにすると、変質したり塗装がはがれたりするなどの原因となります。
- たばこの煙や煙を出すタイプの殺虫剤、ほこりなどが機器内部に入ると故障の原因となります。
- ワックスのかかった床などに直接置くと、本機底面のすべり止め用ゴムと床材の密着性が上がり、床材のはがれや着色の原因となることがあります。
- 長時間ご使用になっていると上面や背面が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 長期間ご使用にならないときは液漏れを防ぐため、リモコンの乾電池を取り出しておいてください。また、外部接続機器がつながっている場合は本機から取りはずし、電源をオフにしておいてください。
- ふだん使用しないときは電源をオフにしてください。
- 本機は日本国内専用です。海外では使用できません。また、海外での修理対応もできません。
  (This unit is designed for use in Japan only. No servicing is available outside of Japan.)
- 車載での使用はしないでください。
- 本機の内部にほこりが溜まらないように、設置場所の定期清掃をおこなってください。ほこりが溜まると故障の原因となる場合があります。
- 本機は精密電子機器です。長くご愛用いただくためにできるだけ丁寧に取り扱ってください。

安全のために必ずお守りください(つづき)

液晶パネルについて

■ 液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99 %以上の有効画素がありますが、0.01 %以下の画素欠けや常時点灯する画素があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承願います。

■ 液晶パネルが汚れた場合は、脱脂綿か柔らかい布で拭きとってください。(液晶パネルは素手で触らないようにしてください。)

■ 液晶パネルに水滴などがかかった場合はすぐに拭きとってください。そのままにすると液晶パネルの変質、変色の原因となります。

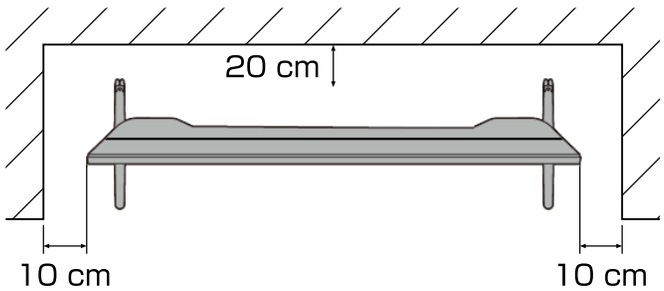
■ 液晶パネルを傷つけないでください。硬いもので液晶パネルの表面を押したり、ひっかいたりしないでください。

本機の設置についてのお願い

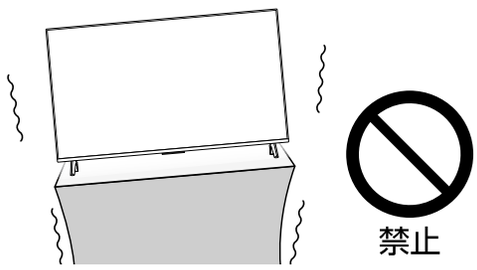
■ 本機を他のテレビやラジオなどの近くに置く場合は、本機を使用中、組合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合は、他のテレビやラジオなどからできるだけ離してください。

■ 直射日光の当たる場所、熱器具の近くなど温度が高くなる場所や、熱源になるような機器の上には置かないでください。湿気の多い場所、加湿器の近くには置かないでください。故障の原因となります。

■ スタンドを取り付けて設置する際には、最低限、下図のスペースを設けてください。



■ 不安定な場所に置かないでください。台の上に設置するときは、平坦ですべりにくい、本機の外形より大きい、変形しない台の上に置いてください。



ご注意
- 傾斜面や、水平でない面、カーペットなどの軟らかい面への設置を避けてください。
- 本機の下へ物をはさまないでください。

使用上のお願い

無線LANやBluetooth®を使う際のお願い

- 本機内蔵の無線LAN／Bluetoothモジュールおよび付属のリモコンは日本国の電波法に基づく無線設備です。海外で使用することはできません。また、以下の行為のあとで使用すると法律で罰せられることがあります。
  - 無線設備を分解／改造すること
  - 無線設備に貼り付けている証明表示をはがすこと
- 無線LANが使用する周波数帯は2.4 GHz帯と5 GHz帯、Bluetoothが使用する周波数帯は2.4 GHz帯ですが、他の無線機器も同じ周波数を使用している場合があります。他の無線機器との間で電波干渉が発生しないように、以下の注意事項に留意してご使用ください。

本機が使用する周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すみやかに無線LAN／Bluetoothの使用を停止し、「お客様ご相談窓口」にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいは、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、「お客様ご相談窓口」へお問い合わせください。

▷ 制限事項

- 動作環境にすべて合致していても正常に動作しない場合や、何らかの不具合が発生することがあります。すべての動作を保証するものではありません。
- 本機の通信機能は、米国電気電子技術協会IEEE802.3に準拠しています。
- 本機の状態やパソコン間の通信状態によっては、表示が遅くなったり、最新の状態ではなかったり、表示や通信にエラーが発生したりすることがあります。すべての動作を保証するものではありません。
- プロバイダー（インターネット接続事業者）側の設定や制限によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 電話通信事業者およびプロバイダーとの契約費用および通信に使用される通信費用は、お客様ご自身でご負担ください。
- プロバイダー指定の回線接続機器に、1000Base-T／100Base-TX／10Base-TのLANポートがない場合は接続できません。
- プロバイダーによっては、ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。くわしくはご契約のプロバイダーへお問い合わせください。
- セキュリティソフトウェア自体やその設定によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 使用制限のされていない無線LANネットワークには接続しないでください。接続すると不正アクセスとみなされる恐れがあります。
- 本機とハブやルーターとの接続には別途、市販品のLANケーブル（ストレート）をご用意ください。
- ネットワーク接続の動作環境は、予告なく変更される場合があります。また、すべての動作を保証するものではありません。

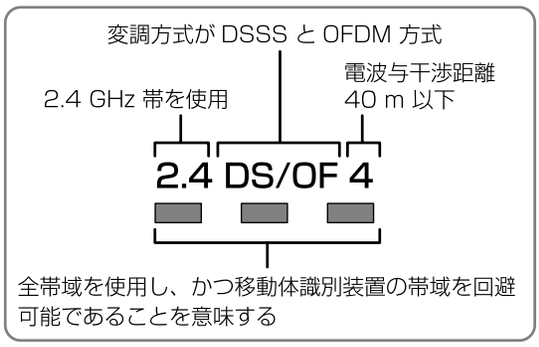
▷ 免責事項

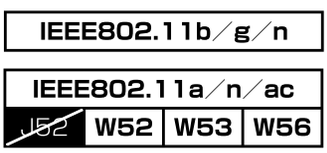
- 本機機能によって接続した機器に通信障害などの不具合が生じた場合の結果について、当社は、当社に故意または重過失がある場合をのぞき、一切の責任を負いません。
- お客様の居住環境が、ブロードバンド常時接続できない場合に関して、当社は一切責任を負いません。
- 火災、地震、雷など自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機能の使用または使用不能から生ずる付随的な障害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失、インターネット契約料金・通信費用の損失など）に関して、当社は、当社に故意または重過失がある場合をのぞき、一切責任を負いません。
- 本書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続した機器、使用されるソフトウェアとの組合わせによる誤動作や、ハングアップなどから生じた損害に関して、当社は、当社に故意または重過失がある場合をのぞき、一切責任を負いません。
- 本機能を使用中、万一何らかの不具合によって、録画・録音・編集されなかった場合の内容の補償および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、当社は、当社に故意または重過失がある場合をのぞき、一切の責任を負いません。
- インターネットを使用して提供されるサービスは、予告なく一時停止したり、サービス自体が終了されたりする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

使用上のお願い(つづき)

無線LANの規格について

- 5 GHz帯の電波を使用して、屋外で通信しないでください。5 GHz帯の無線設備を屋外で使用することは法令により禁止されています。屋外で本機の無線LANを使用する場合は、5 GHz帯を使用せずに2.4 GHz帯をご使用ください。
- 本機背面の定格銘板に記載されている周波数表示は、右図の内容を示しています。
- 本機の無線LANは、以下の規格にも対応しています。ご使用になる無線LANアクセスポイントも、この規格に対応した製品をお使いください。





規格		チャンネル	周波数帯 (中心周波数帯)
IEEE802.11b／g／n		1～13	2.412～2.472 GHz
IEEE802.11a／n／ac	W52	36, 40, 44, 48	5.18～5.24 GHz
	W53	52, 56, 60, 64	5.26～5.32 GHz
	W56	100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140	5.50～5.70 GHz

※ 本機は従来の無線規格であるJ52には対応しておりません。

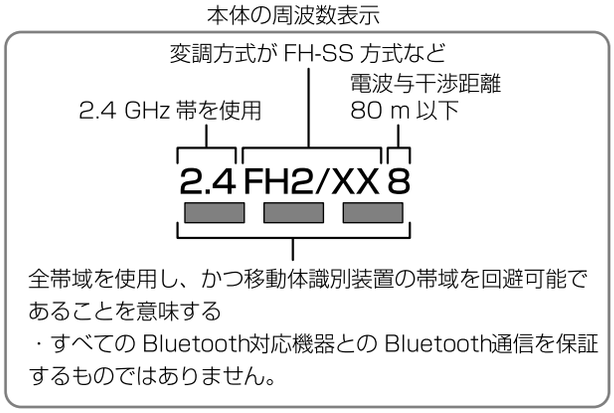
- 無線LANの性能や環境条件による影響など。

ご注意
- 5 GHz帯に対応した無線LANルーター(アクセスポイント)をお使いの場合は、5 GHz帯でのご使用をおすすめします。
- 2.4 GHz帯の無線LAN ルーター(アクセスポイント)をお使いの場合は、以下にご注意ください。
- USB3.0対応のUSB ハードディスクおよびUSB ケーブルや2.4 GHz帯の機器(電子レンジなど)を本機の近くで使用すると、無線LAN通信が途切れることがあります。USB ハードディスクおよびUSB ケーブルや2.4 GHz帯の機器をお使いになるときは、本機の近くには設置せず、本機からできるだけ離して配置してください。

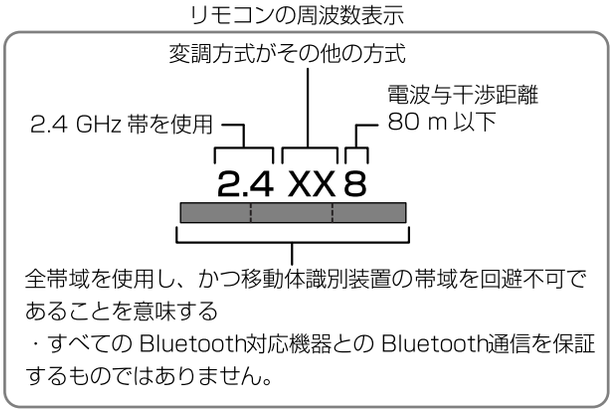
Bluetoothの規格について

- 本機背面の定格銘板に記載されている周波数表示は、以下の内容を示しています。

本体の周波数表示



リモコンの周波数表示



- Bluetoothの性能や環境条件による影響など。

ご注意

- 本機はBluetoothに対応していますが、すべてのBluetooth機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth機器との動作を保証するものではありません。
- Bluetoothでは約10 mまでの距離で接続できますが、障害物などの環境条件、電子レンジなどの電波環境要素などに影響されます。
- 2.4 GHz帯の機器(無線LANや電子レンジなど)の近くでお使いの場合は、Bluetoothの接続や通信が途切れたり、接続速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがあります。
- Bluetoothの電波は動作に影響を与える可能性があるため、電子医療機器などの近くではBluetooth通信や接続はおこなわないでください。
- 本機に同時接続できるBluetoothオーディオ機器は1台のみです。ただし、Bluetoothオーディオ機器以外のBluetooth機器の場合は、複数台同時接続できます。
- (例:Bluetoothスピーカーを1台と、付属のリモコンやBluetoothキーボードを同時接続することができます。)
- Bluetoothオーディオ機器を本機と接続している状態では、本機スピーカーから音声を同時に出力することはできません。
- Bluetoothオーディオ機器への音声転送時対応コーデック(圧縮方式)は、標準のSBC(Sub-Band Codec)です。(aptX、eSBCなどには対応しておりません。)
- Bluetoothの特性により、送信側の音声に比べて受信側のBluetoothオーディオ機器では再生がわずかに遅れます。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth通信をおこなう際はご注意ください。

無線LAN製品やBluetooth機器ご使用におけるセキュリティに関するご注意

- 無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りをおこなうため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁など)をこえてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定をおこなっていない場合は、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

- 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、メールなどの通信内容からIDや暗証番号またはクレジットカード番号などの個人情報を盗み見る可能性があります。

不正に侵入される

- 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏えい)、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)、傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)、コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)などの行為をされてしまう可能性があります。

- 本来、無線LAN製品やBluetooth機器はセキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定をおこなって製品を使用することで上記問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定をおこなわないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身が判断と責任においてセキュリティに関する設定をおこない、製品を使用することをおすすめします。

- 無線LANやBluetooth通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は、当社に故意または重過失がある場合をのぞき、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ご使用になる前に

USBメモリーについて

USBメモリー

・ファイルシステム　FAT32、NTFS
・USB2.0対応

本機は、USBマスストレージクラスデバイスにのみ対応しています。お使いのUSB機器がUSBマスストレージクラスであるかは、直接USB機器の発売元にお問い合わせください。

※ 本説明書では接続できるUSB機器を「USBメモリー」と記載しています。

・本機で使用できるUSBメモリーは32GB以下です。
・USBハブを介してUSB機器を使うことはできません。
・本機では、USBメモリー内のファイルを移動させることはできません。
・機器の状態によっては正常に動作しないことがあります。

著作権について

・本機でお客様がインターネットなどから録音・ダウンロードしたものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

商標とライセンス

Google関連

Google、YouTube、Android TV、Chromecast built-in は Google LLC の商標です。

Netflix

Netflixの視聴にはメンバーシップが必要です。

Prime Video

Amazon、Prime Videoおよび関連する全てのロゴはAmazon.com,Inc.またはその関連会社の商標です。

JL-32T4L/JL-32S4LW

Dolby AUDIO

ドルビーラボラトリーズの実施権に基づき製造されています。Dolby、Dolby Audio、ドルビー及びダブル D 記号は Dolby Laboratories Licensing Corporationの商標です。

JL-50N4L/JL-43N4L

Dolby VISION·ATMOS

Dolby、Dolby Vision、Dolby Atmos、ドルビー及びダブルD記号は Dolby Laboratories Licensing Corporation の登録商標です。ドルビーラボラトリーズの実施権に基づき製造されています。非公開機密著作物。著作権 © 2012 - 2021年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

Wi-Fi ®は Wi-Fi Alliance® の商標または登録商標です。

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interfaceという語、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

本製品は、AVC Patent Portfolio License および VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用をのぞいてはライセンスされておりません。詳細については米国法人 MPEG LA, LLC（http://www.mpegla.com）をご参照ください。

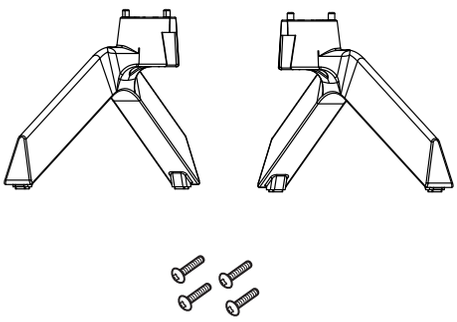
・ AVC規格に準拠する動画を記録するとき
・ 個人的かつ非利活動に従事する消費者によって記録された AVC 規格に準拠する動画および VC - 1 規格に準拠する動画を再生するとき
・ライセンスを受けた提供者から入手された AVC規格に準拠する動画および VC - 1 規格に準拠する動画を再生するとき

「JVC」は、株式会社 JVCケンウッドの登録商標です。この製品は、株式会社ヤマダホールディングスが株式会社 JVCケンウッドより商標使用許諾を受けて、企画、製造、販売しています。

付属品を確認する

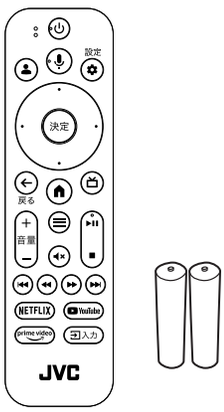
お知らせ
● 本書の説明で使用する、下記の付属品以外のすべての製品（各種ケーブル： USBメモリー、スピーカー、ヘッドホンなど）は市販品です。

スタンド



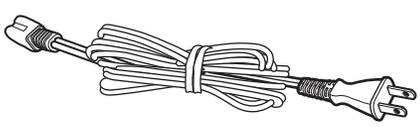
スタンド×2本(1 組)
スタンド取り付けネジ×4 本
※スタンドの形状は画面サイズによって異なります。

リモコン



リモコン×1 台、
動作確認用単 4形乾電池(R03)×2本

電源コード



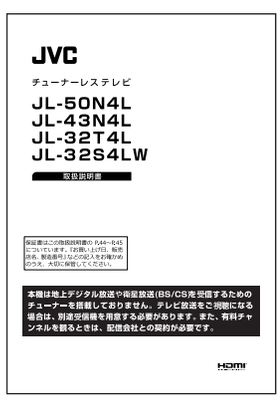
電源コード（JL-50N4Lのみ）

（付属の電源コードは本機専用です。他の機器では使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。）

転倒防止用フック

転倒防止用フック×2 個、ネジ×2 本

取扱説明書

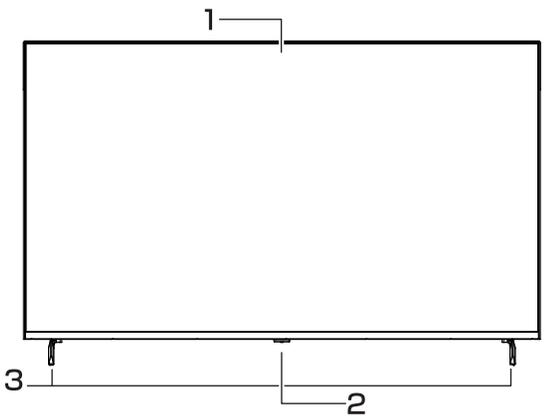


取扱説明書×1部

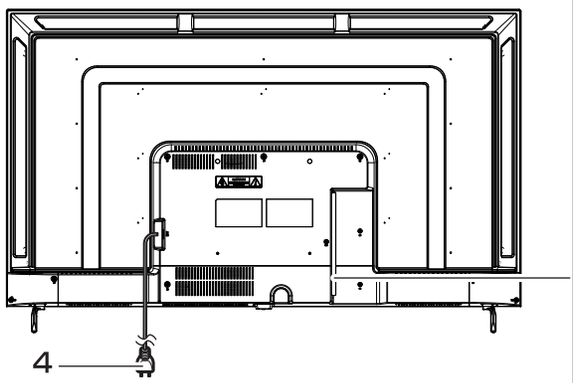
各部の名称（本体）

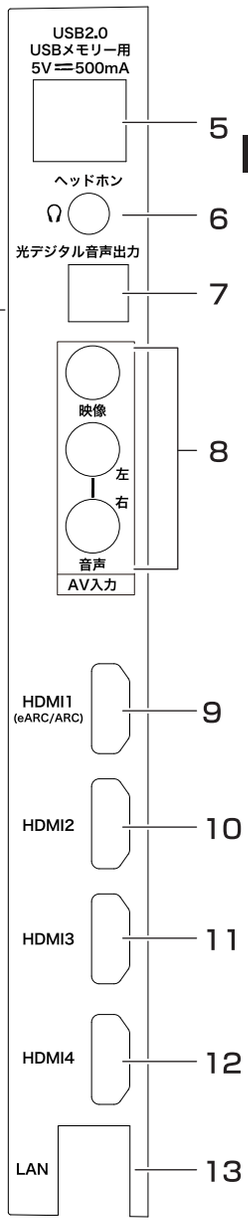
JL-50N4L

本体前面



本体背面



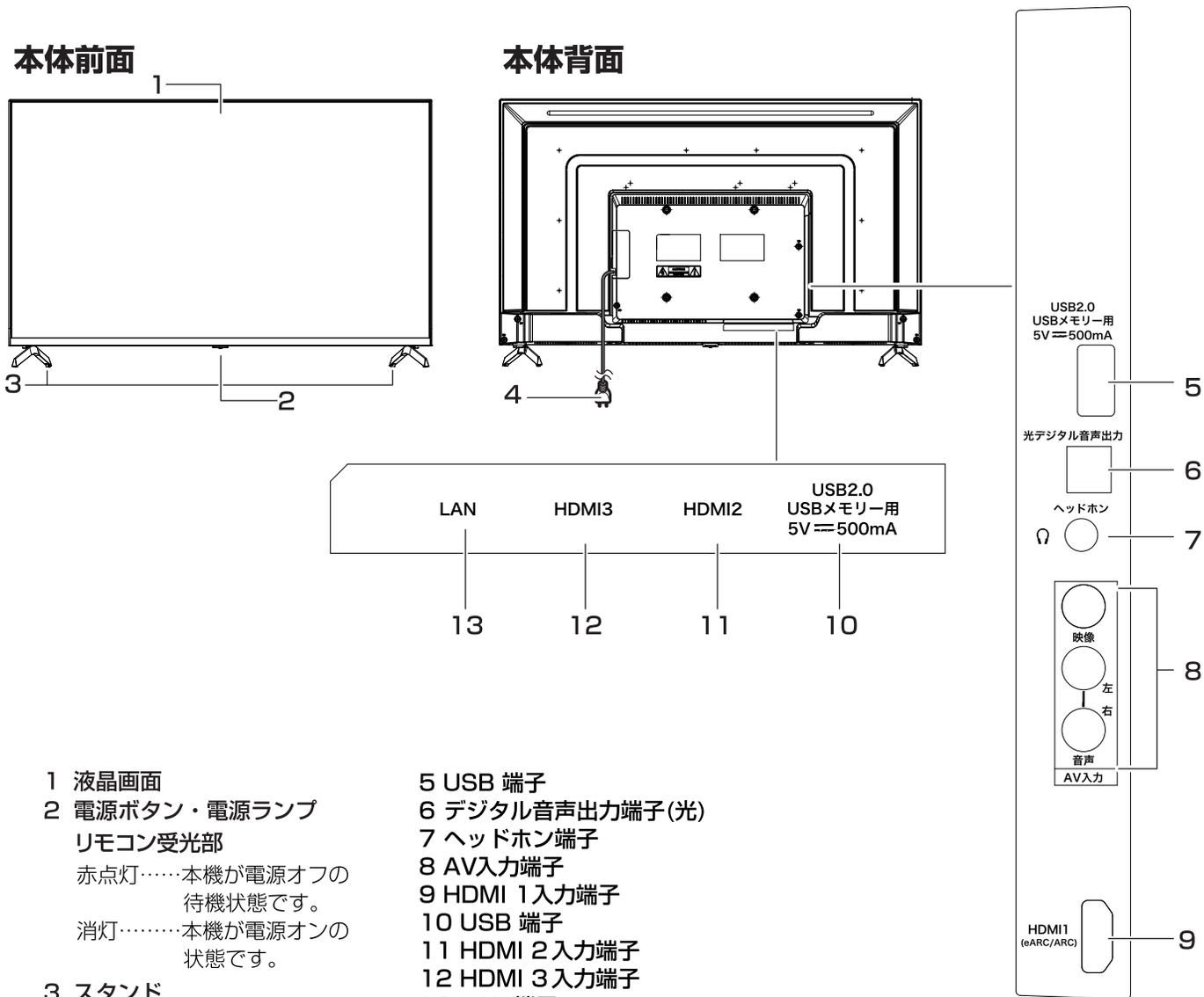


1 液晶画面
2 電源ボタン・電源ランプ
リモコン受光部
赤点灯……本機が電源オフの待機状態です。
消灯……本機が電源オンの状態です。
3 スタンド
4 電源プラグ

5 USB端子
6 ヘッドホン端子
7 デジタル音声出力端子(光)
8 AV入力端子
9 HDMI 1入力端子
10 HDMI 2入力端子
11 HDMI 3入力端子
12 HDMI 4入力端子
13 LAN端子

各部の名称（本体）

JL-43N4L



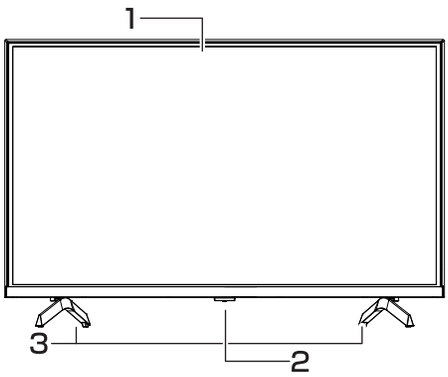
1 液晶画面
2 電源ボタン・電源ランプ
リモコン受光部
赤点灯……本機が電源オフの待機状態です。
消灯……本機が電源オンの状態です。
3 スタンド
4 電源プラグ

5 USB 端子
6 デジタル音声出力端子(光)
7 ヘッドホン端子
8 AV入力端子
9 HDMI 1入力端子
10 USB 端子
11 HDMI 2入力端子
12 HDMI 3入力端子
13 LAN 端子

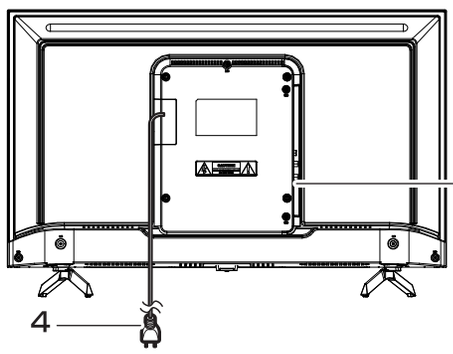
各部の名称（本体）

JL-32T4L

本体前面

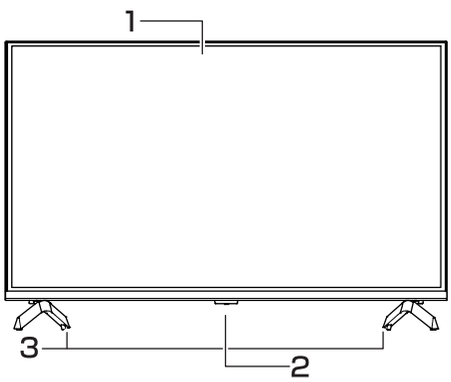


本体背面

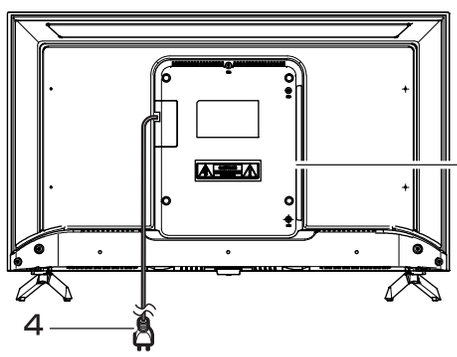


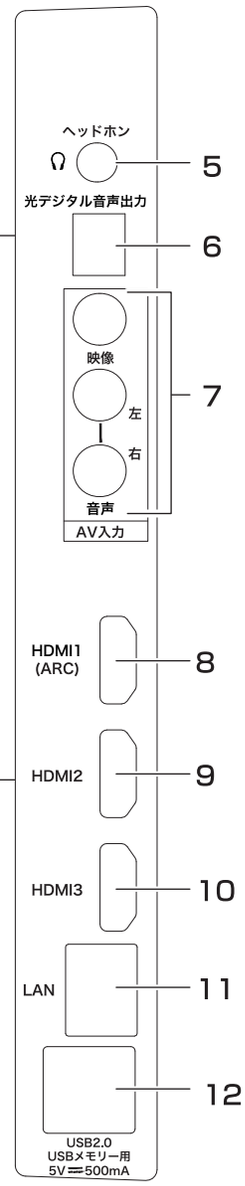
JL-32S4LW

本体前面



本体背面



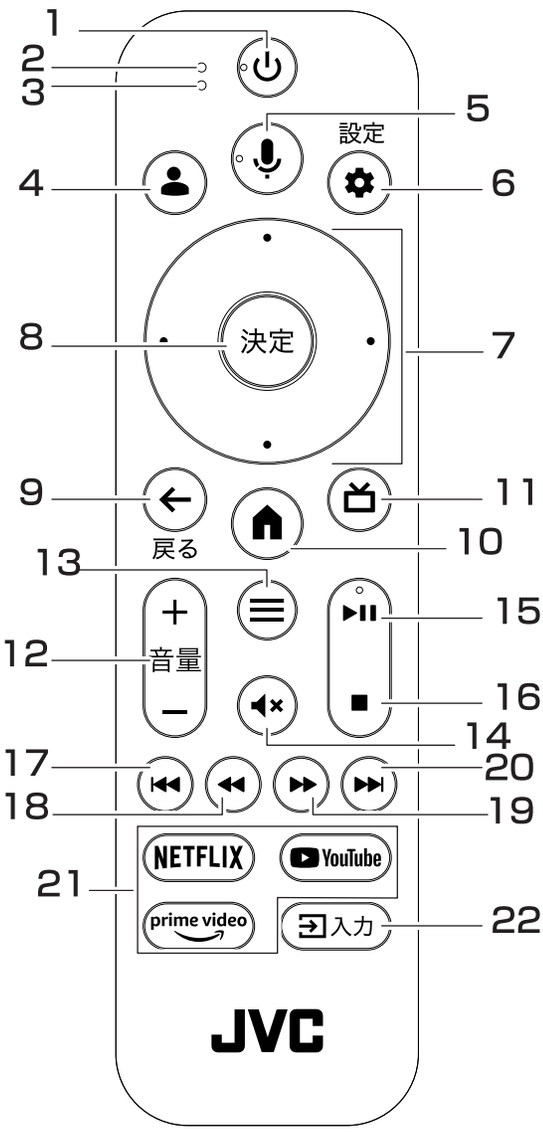


1 液晶画面
2 電源ボタン・電源ランプ
リモコン受光部
赤点灯……本機が電源オフの待機状態です。
消灯……本機が電源オンの状態です。
3 スタンド
4 電源プラグ

5 ヘッドホン端子
6 デジタル音声出力端子(光)
7 AV入力端子
8 HDMI 1入力端子
9 HDMI 2入力端子
10 HDMI 3入力端子
11 LAN端子
12 USB端子

各部の名称 (リモコン)

リモコン



	ボタン名	機能
1	電源	電源のオンやオフができます。
2	インジケータライト	Googleアシスタントの状態を表示します。点灯しているときに、音声入力ができます。
3	マイク	音声を認識します。
4	Google アカウントボタン	Googleアシスタントを起動し、音声入力ができるようになります。
5	Google アシスタント	Googleアシスタントに話しかけるには、このボタンを押します。
6	設定	設定メニューを表示します。
7	カーソル	上下左右に移動できます。
8	決定	決定がおこなえます。
9	戻る	一つ前の画面に戻ります。
10	ホーム	ホーム画面を表示します。
11	ライブ TV	ライブ TV アプリにアクセスします。 ※本機では外部入力を表示します。
12	音量	音量を調節できます。
13	メニュー	メニュー画面を表示 / 非表示します。
14	消音	音を一時的に消します。もう一度押すと元の音量に戻ります。
15	再生／一時停止	再生を開始または一時停止します。
16	停止	再生を停止します。
17	スキップダウン	ひとつ前のチャプターから再生します。
18	早戻し	早戻し再生をします。
19	早送り	早送り再生をします。
20	スキップアップ	次のチャプターから再生します。
21	NETFLIX YouTube Prime Video	各動画配信サービスに直接アクセスできます。
22	入力	押すごとに入力を切り換えます。

準 備

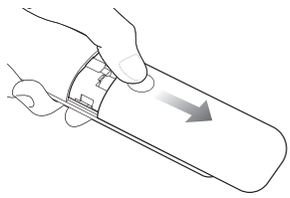
リモコンの電池の取り付け

1 矢印の方向にスライドして、裏ぶたをはずす

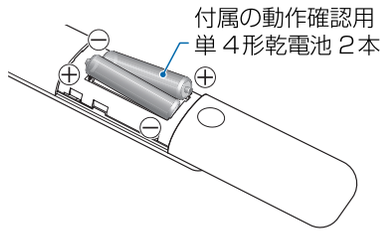
2 ⊕／⊖をよく確かめて⊖側から正しく入れる

3 裏ぶたをつける

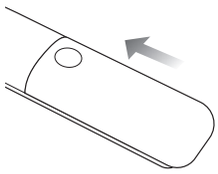
①



②



③

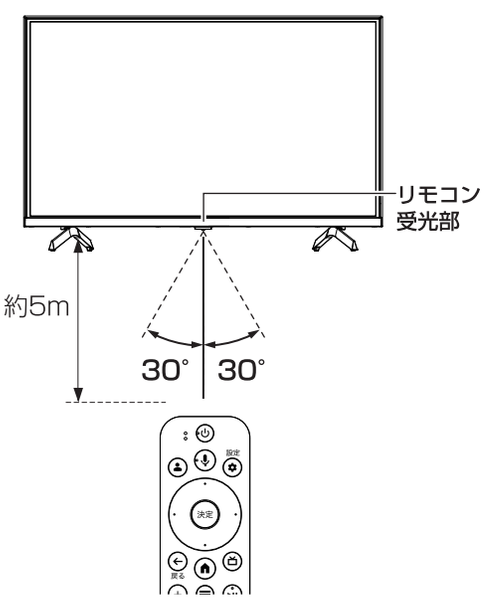


ご注意

- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 直射日光の当たるところや高温になる場所、湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。
- ベンジン、シンナーなど揮発性の高い液体で拭かないでください。
- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池に交換することをおすすめします。
- 乾電池はマンガン乾電池の単 4 形乾電池(1.5V 2本)をお使いください。
- リモコンのマイクで音声を認識するには Bluetoothでのペアリングが必要です。
- リモコンは精密機器です。ていねいに扱ってください。ボタンを押すときは、真上から力を入れすぎないように押してください。
- リモコン受光部に強い光が当たっていると、リモコンが動作しないことがあります。
- 画面に操作メニューが表示されている場合は、その操作に対応したボタンが有効となります。連続して他の操作をおこなう場合は、その操作メニューの表示が消えてから操作してください。
- 使用済乾電池を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。
- 以下の場合は、操作結果が確認できるように本機が見える位置から操作してください。
  - 本機のリモコン操作をする場合
  - Wake-on-LANに対応した機器から本機を操作する場合
  - 本機に対応したアプリで操作をする場合

リモコンで操作できる範囲

リモコンの操作は、本体前面にあるリモコン受光部の正面から約 5 メートル、左右 30° の範囲でお使いください。



乾電池について

乾電池を扱うときには

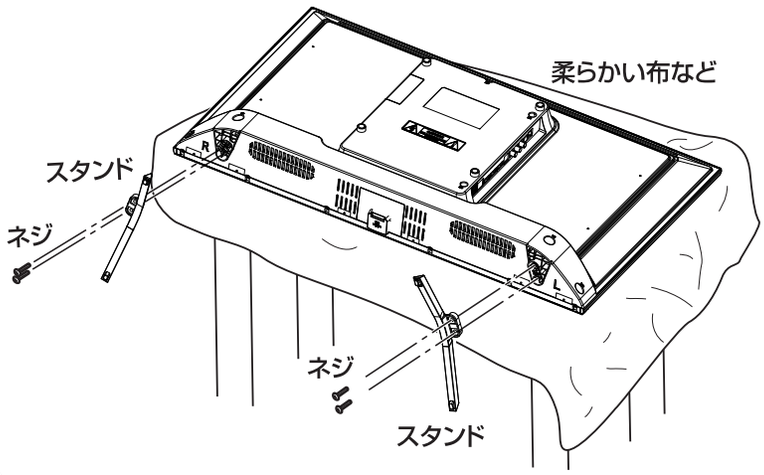
- 指定以外の乾電池は使用しない。
- 新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。
- 極性表示を間違えないで挿入する。
- 水や火の中に入れたり、充電･加熱･分解･ショートしない。
- 液もれがおきたら使用しない。
  乾電池はもちろん、本体も液がついた状態で使用すると危険なため、直接触れずに拭き取るようにし、販売店にご相談ください。
  万が一、液が体に付いてしまった場合は、水で十分に洗い流すようにしてください。
- 長時間使用しないときは乾電池を取りはずす。
- 使いきった乾電池や、使用推奨期限の過ぎた乾電池もはずしておく。

設 置

スタンドの取り付け

本機をご使用の前に、必ずスタンドを取り付けてください。取り付ける際は、スタンドの取り付け方向に注意して、正しく取り付けてください。

スタンドの取り付けにプラスドライバー(市販品 :JIS2番／直径 6mm)をご用意ください。



1 **台などの上に柔らかい布（毛布など）を敷き、液晶画面を下向きにして本機を置く**

2 **右図を参考にして、本体にスタンドを差し込み、付属の取付用ネジ（4 本）で固定する**

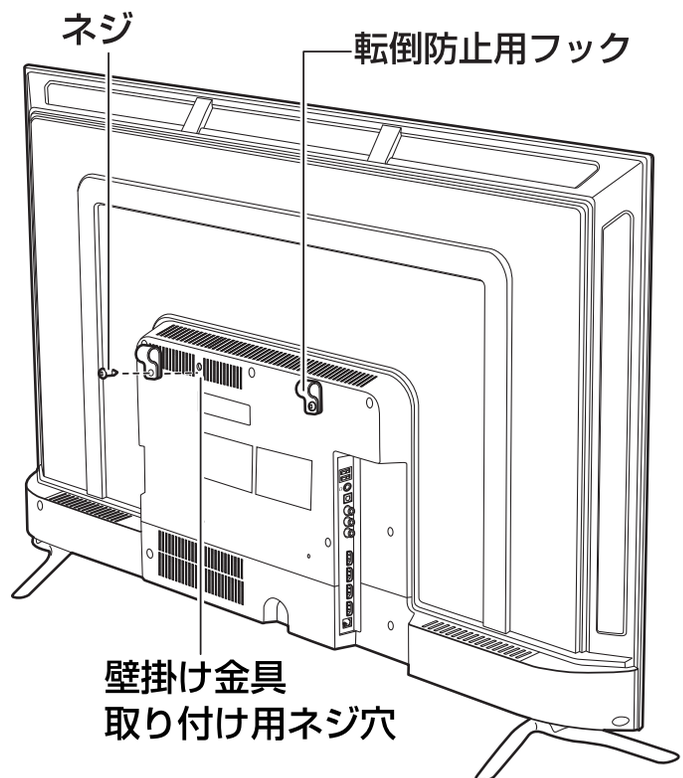
ドライバーを使用して、がたつきのないようにしっかりとネジをしめてください。

※スタンド取り付け後に、出荷時本体に取り付けられている梱包材･保護テープなどをはずしてください。

ご注意

- スタンドの取り付けは、2 人以上で行なってください。
- スタンドの取り付け方向を間違えると、本体が転倒する恐れがあります。
- 液晶パネルに強い力や衝撃を与えないでください。圧力で液晶パネルが破損する可能性があります。
- 電動ドライバーを使用する場合は、必ずトルク設定機能があるものを使用し、トルクは1.0N･m（10kgf･cm）に設定してください。また、ネジがまっすぐ入っていることをよく確認し、引っかかりを感じたらすぐに止めてください。

  ※ トルクとは、ネジを回す強さのことです。トルク設定機能がない電動ドライバーはトルクが強すぎるため、ネジ山がつぶれたり、ネジが折れたりする危険があるので使用しないでください。

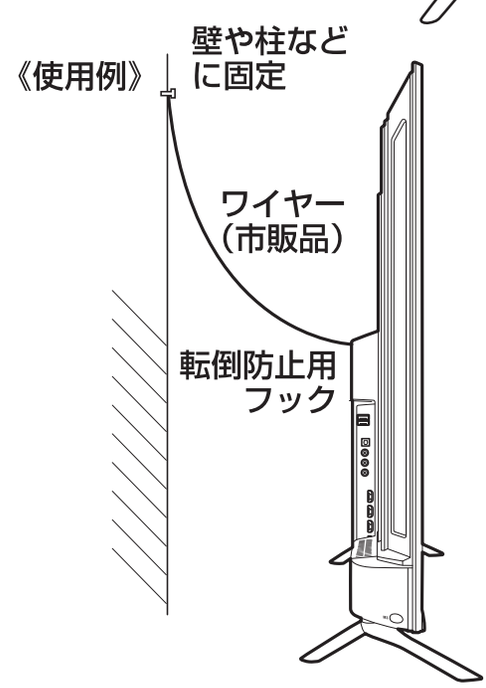


転倒防止の処置

地震などでの本体転倒によるけがや物損事故などの危害を軽減するため、市販の転倒防止用品などを使用して転倒防止の処置をしてください。
付属の転倒防止用フックは下記の手順で取り付けてください。

1 **付属の転倒防止用フック（2個）をネジで固定する**

転倒防止用には、同梱のネジをご使用ください。
お手持ちの適切な大きさの手回しの＋（プラス）ドライバーを使用してがたつきがないようにしっかりとネジをしめてください。

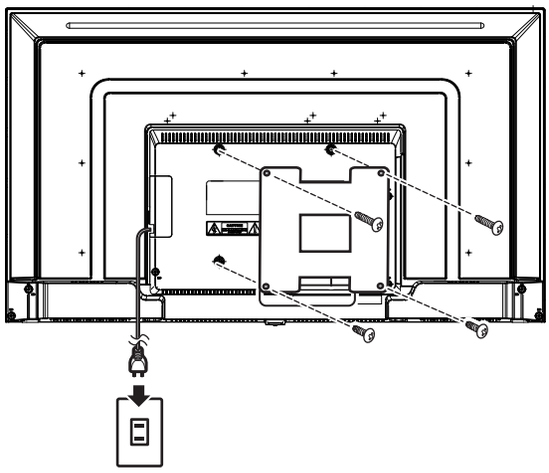


設 置（つづき）

壁掛け金具の取り付け

本機は市販の壁掛け金具を使用して壁に取り付けることができます。

- **本機を取り付ける壁の強度には十分ご注意ください。**
- **壁掛け金具の取り付けは、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。**
- **壁への取り付けが不完全または誤った取り付けかたをすると、本機が落下して打撲や骨折など、大けがの原因になることがあります。**



お知らせ

VESA 規格に準じた金具がご使用いただけます。
本機の重量に合った壁掛け金具を使用してください（電源コード、接続するHDMIケーブルなどの重量も考慮してください）。
ご使用の金具により、ネジが若干長い場合は、ワッシャーを入れて調節してください。
下記の条件に合った金具をご使用ください。

JL-50N4L

ネジ穴寸法：200 mm×200 mm（VESA規格）
耐荷重：9.0 kg以上
ネジ挿入長さ： 上：M6 × 12 mm × 2本
下：M6 × 10 mm × 2本

JL-43N4L

ネジ穴寸法：200 mm×200 mm（VESA規格）
耐荷重：7.1 kg以上
ネジ挿入長さ： 上：M6 × 16 mm × 2本
下：M6 × 10 mm × 2本

JL-32T4L ／ JL-32S4LW

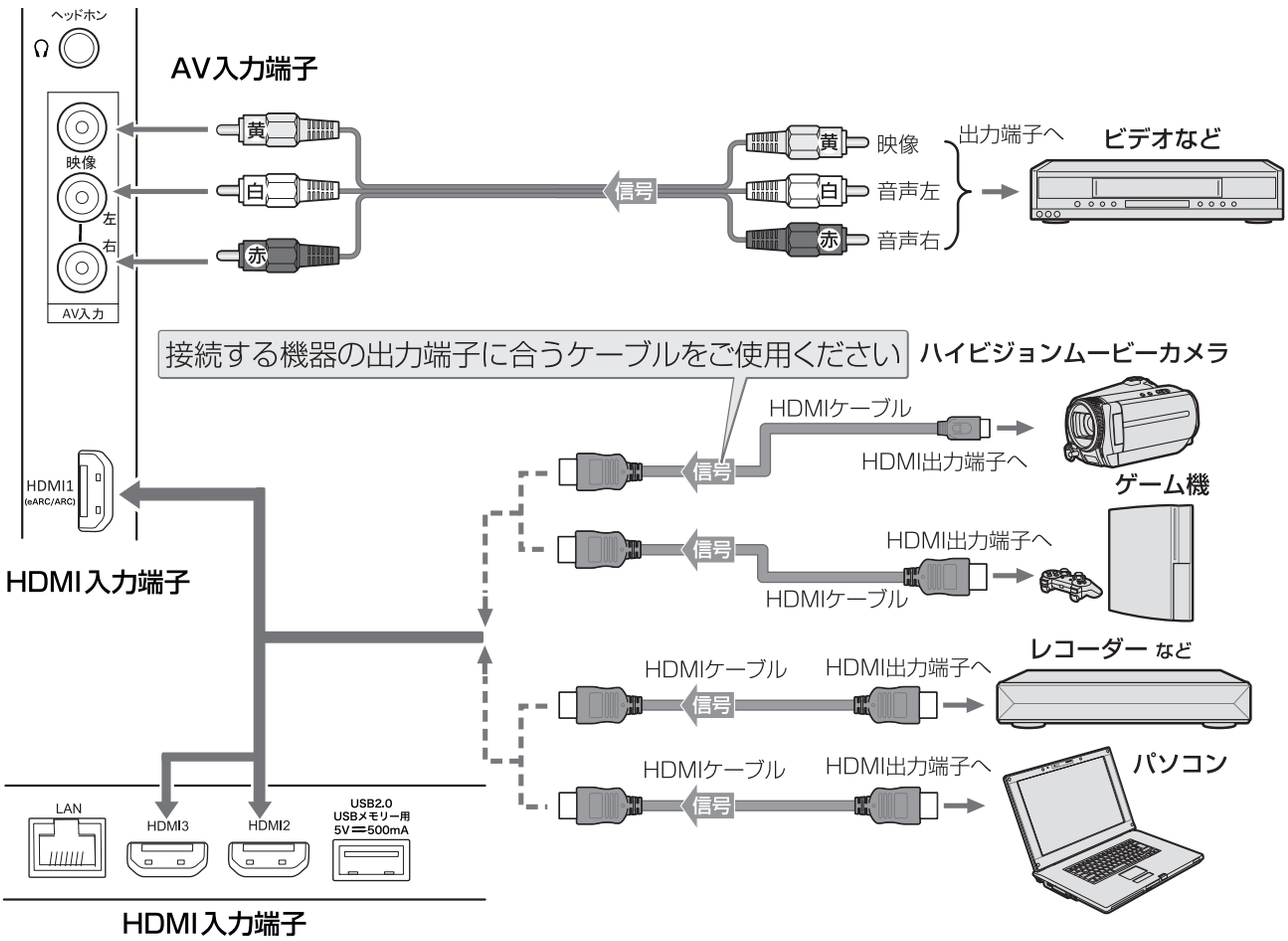
ネジ穴寸法：200 mm×200 mm（VESA規格）
耐荷重：4.0 kg以上
ネジ挿入長さ： 上：M6 × 10 mm × 2本
下：M6 × 10 mm × 2本

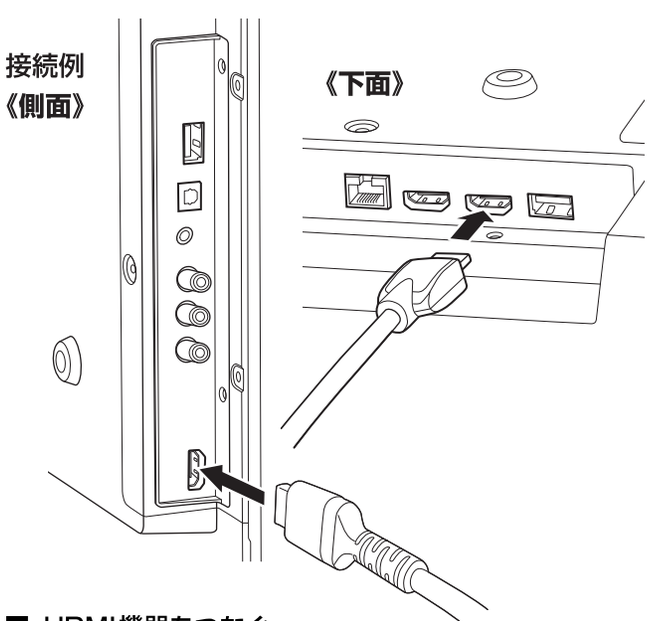
ご注意

- 長いネジを使用するときは、ワッシャーを入れて調節してください。
- 油煙や湯気が当たるところには設置しないでください。キャビネットの強度が低下し、本機が落下するおそれがあります。
- 電動ドライバーを使用する場合は、必ずトルク設定機能があるものを使用し、トルクは1.0N·m（10kgf·cm）に設定してください。また、ネジがまっすぐ入っていることをよく確認し、引っかかりを感じたらすぐに止めてください。
- 電源コードの位置に注意して取り付け金具を選択してください。
- 本機を壁掛けで使用するときは、スタンドを取りはずしてください。
- 取りはずしたスタンドと取付用ネジは大切に保管してください。

映像機器・音響機器の接続

外部機器を接続するときは、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行なってください。





■ HDMI機器をつなぐ

- 外部機器と本機を接続する場合は、外部機器の HDMI 出力端子と本機の HDMI 入力端子を HDMI ケーブル(市販品)でつないでください。
- 50V型:HDMI 1～4、43/32V型:HDMI 1～3
- また、HDMI-CEC(Consumer Electronics Control)規格に準拠した機器にHDMIケーブルで接続することにより、相互連動動作を可能にします。

■ ご注意

- HDMI ケーブルは HDMI 規格認証されたハイスピード HDMI ケーブルをご使用ください。
- HDMI 対応機器の接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。また HDMI-CEC対応機器は製品ごとに接続方法や動作が異なりますので、機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 本機の HDMI 入力端子は、すべてのパソコンと接続を保証するものではありません。
- パソコンの対応解像度など、くわしくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

設 置（つづき）

インターネットの接続

本機を利用するためには、インターネットに接続する必要があります。
あらかじめプロバイダー契約など、インターネットに接続できる環境にしておく必要があります。

有線で接続する場合

有線で接続する場合は、自宅のルーターとLANケーブルで接続します。

・LANケーブルは長さに余裕を持って接続をしてください。
・LAN ケーブルのプラグを挿し込んだとき、「カチッ」と音がしてロックされ、はずれないようになっていることを確認してください。
・本機の LAN端子には、必ずルーターなどを経由して接続してください。

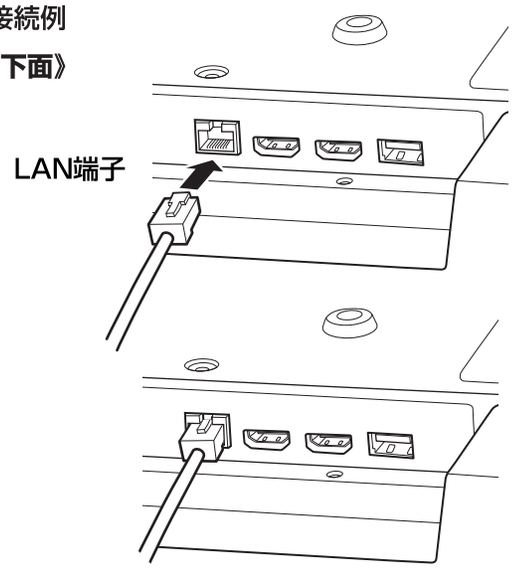
無線(Wi-Fi)で接続する場合

無線で接続する場合は、自宅のWi-Fiルーターなどを準備し、接続します。

・Wi-Fi機器からできるだけ近い、安定して高速で接続できる位置で接続をしてください。
・ Wi-Fiルーターが対応する周波数と本機の対応する周波数が一致しない場合、Wi-Fiルーターの持つ性能を生かし切れないことがあります。
・セキュリティの観点からあまり古いWi-Fi機器での使用はおすすめしません。
・本機は、公衆無線 LAN接続には対応しておりません。

接続例

《下面》



基本の操作

電源を接続する

1 **電源プラグをコンセントに接続する**
本体前面の電源ランプが赤色に点灯します。

電源をオンにする

1 **リモコンまたは本体の電源ボタンを押す**
本体前面の電源ランプが消灯し、電源が入ります。

電源をオフにする

1 **リモコンまたは本体の電源ボタンを押す**
本体前面の電源ランプが点灯し、電源が切れます。

ご注意

- 本体を移動させたりするときや長期保管するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

操作のしかた

初めて電源を入れたときは、初期設定をする必要があります。
カーソルボタンと決定(決定)ボタン、間違ったときは
戻るボタンを押して、初期設定を終えてください。

1 **カーソルボタンで項目を選択する**

2 **選択した項目でまちがいないときは、(決定)決定ボタンで確定させる**

3 **ひとつ前の選択画面に戻るときは、(←)戻るボタンを押す**
内容によって戻ることができない項目もあります。
※ (←)戻るボタンと左カーソルボタンは違います。

初期設定のしかた

初めて電源を入れたときに初期設定の入力フォームが表示されます。搭載されるシステムのバージョンが変わることによって初期設定のしかたが変更になることがあります。

初期設定

インターネットの接続状態などによって表示されない項目、別の表示が出る項目もあります。

1 **言語、使用する国を設定する**

使用する言語、使用する国を設定します。

- カーソルボタンで選択、決定ボタンを押してください。

※「日本語」に設定することを前提にこの取扱説明書を作成・解説しています。

2 **Google TVとベーシックテレビの設定を選択する**

- **Google TV**は本機でできる機能はすべて利用できます。
- **ベーシックテレビ**は、一般的な液晶ディスプレイ機能の利用となり、アプリの追加、音声での検索や操作（Googleアシスタント機能）などが使用できません。液晶ディスプレイ機能を必要とし、お急ぎで設定を終えたい場合こちらを選択してください（あとからでも Google TVに変更することは可能です）

※Google TVに設定したことを前提にこの取扱説明書を作成・解説しています。

3 **Googleアカウント登録方法を選択する**

本機のスマート機能を使用するにはGoogleアカウント（登録名）が必要です。

- お手持ちのスマートフォンを使用して登録する場合は、画面の指示に従ってGoogleHomeアプリをダウンロードして設定してください。
- このまま付属のリモコンで登録するには、カーソルボタンで下へ移動し、「リモコンで設定を続ける」を選択し、決定ボタンを押してください。

※以下、スマートフォンをお持ちでない場合を想定し、リモコンでの操作を前提にこの取扱説明書を作成・解説しています。

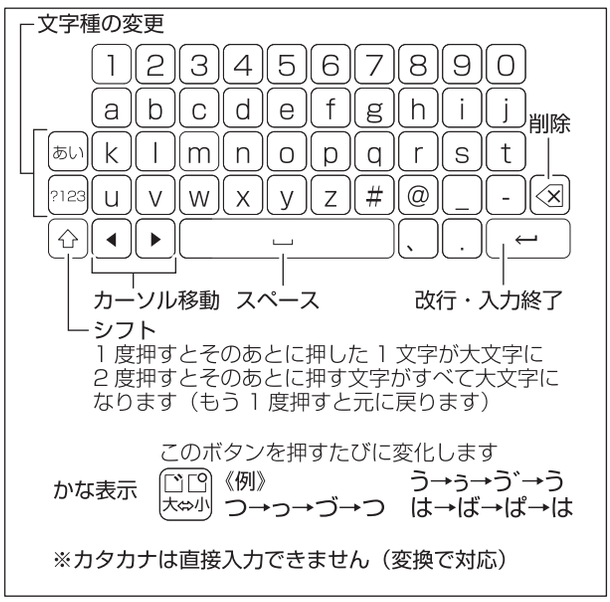
4 **ネットワーク接続を設定する**

それぞれあとで設定しなおすこともできます。

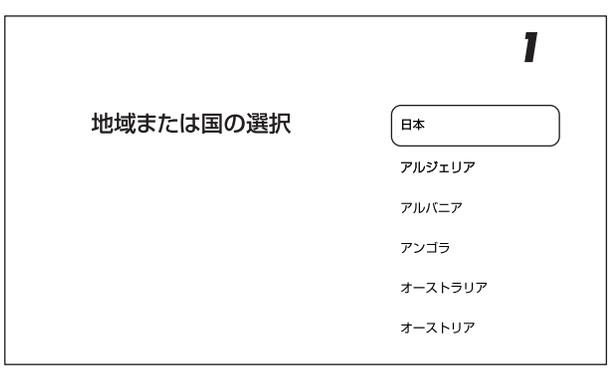
4a **LANケーブルを使って接続をしていると、「有線 LANを使って接続」と表示される**

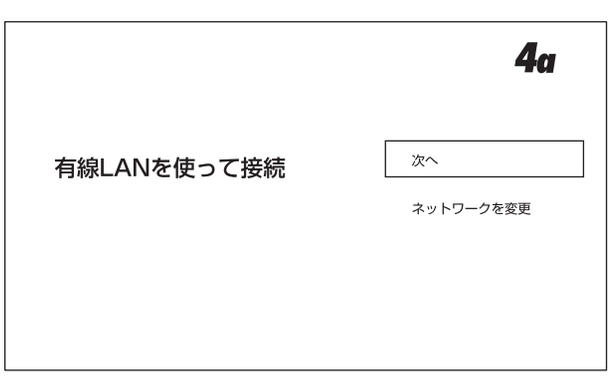
- そのまま LAN ケーブルを使って接続する場合は「次へ」を選択します。
- 無線LANを接続する場合は、「ネットワークを変更」を選択すると、手順**4b**の表示が出ます。

キーボードの使いかた



本機のUSB端子にキーボードを接続することにより、スムーズに文字入力が可能になります。
キーボード配列はUS配列となり（日本のPC用とは異なります）、「@」はShift+2で入力できます。
接続したキーボードによって機能が異なり、対応したアプリをインストールする必要があります。





次ページにつづく

初期設定のしかた（つづき）

4b **LAN ケーブルを使って接続をしていないと、「Wi-Fi ネットワークの選択」と表示される**

接続したい Wi-Fi ネットワーク（SSID）を選択してください。

Wi-Fiネットワークを選択すると、「《Wi-Fiネットワーク名》のパスワードを入力してください」と表示されるのでパスワードを入力する

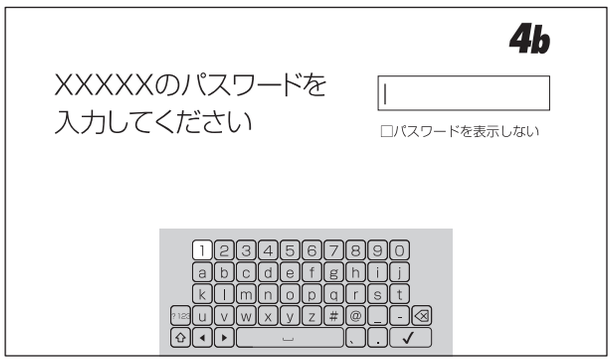
画面上に表示されるキーボードを使用して入力してください(USB接続したキーボードも使用できます)。

- SSID とパスワードは、特別に設定していない場合、無線 LANのルーターに記載されていますので、確認してください。

5 **Google のログイン設定をする**

Google のアカウント (Gmail などで使用するアカウント) をお持ちの場合は、「ログイン」を選択します。

※お持ちでない場合でも、次の画面でアカウント設定をすることができます。



Googleアカウント名・パスワードを入力してください

Googleアカウントをお持ちでない場合は、

←戻るボタンを押すとキーボードが隠れますので、「アカウントを作成」を選択してください。

Googleアカウントの作成画面になります。詳細を入力してアカウントを作成してください。

※ここで作成したアカウントとパスワードは大切なものですから、メモして残し、他人には教えないでください。

利用規約画面が出るので、よく読んで「同意する」を選択する

「詳細」を選択すると、「同意する」が表示されます。

6 **Googleサービスの画面が出るのでよく読んで、「同意する」を選択する**

右下のチェックマーク（位置情報など）は、はずすことができます。

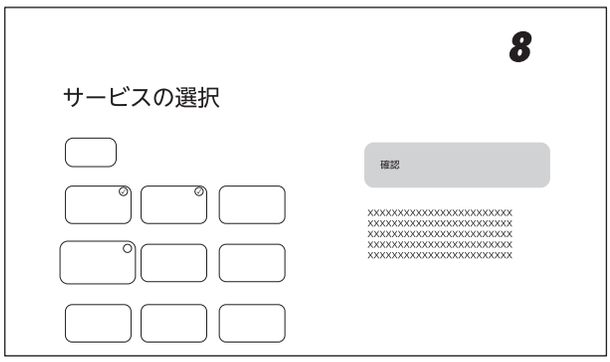
7 **Google アシスタントの各種設定をする**

- **「Google アシスタント」**
- **「複数アプリの検索結果をまとめて表示」**

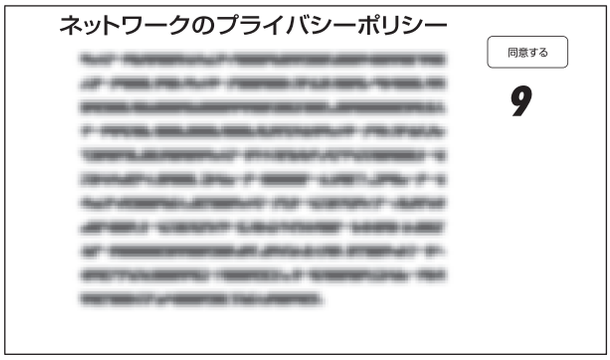
それぞれをお読みになり「許可する」または「許可しない」を選択してください。

8 サービスの設定をする

インストールされていない動画サービスのアプリが表示され、「確認」を選択すると、選択したアプリがインストールされます。

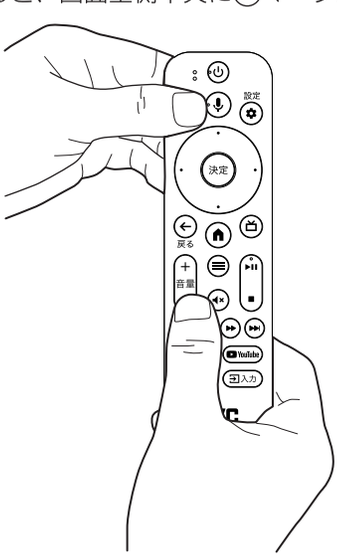


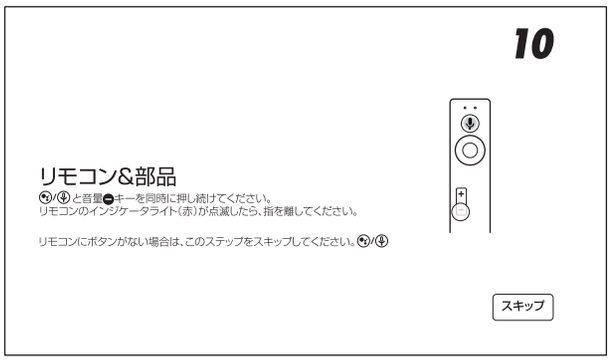
9 ネットワークのプライバシーポリシーを確認して、「同意する」を選択する



10 リモコンのペアリングをする

画面上に出てくる、Googleアシスタントと音量－ボタンを同時に押して、ペアリングをしてください。成功すると、画面上側中央にマークが表示されます。



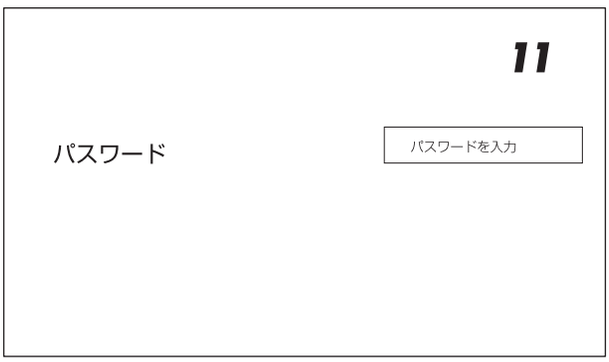


次ページにつづく

初期設定のしかた（つづき）

11 本機のパスワードを設定する

パスワードを４桁の数字で設定してください（0000以外）。
このパスワードも必ずメモしておいてください。



12 テレビモードを選択する

通常「ホーム」を選択してください。

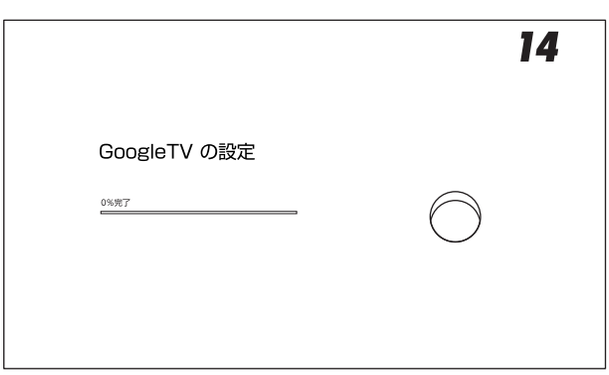
13 Chromecast built-inを常に有効にする

左下の文章を読んで選択してください。

14 アプリのインストール

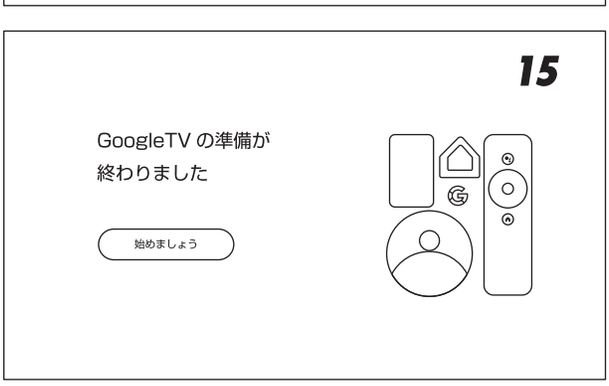
25ページの手順8「サービスの設定をする」で設定したアプリがインストールされます。

多少時間がかかります。



15 GoogleTVの準備が終わりました

決定 決定ボタンを押すと、
ホーム画面が表示されます。

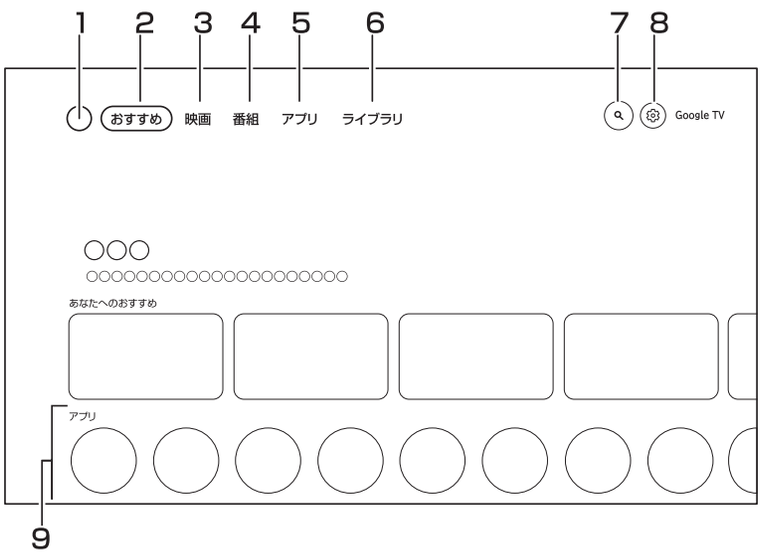


チューナーレステレビの操作

ホーム画面の操作のしかた

ホーム画面からアプリを選択して動作させたり、設定を変更したり、新しいアプリをインストールしたりすることができます。
ホーム画面のデザインは OS のバージョンアップなどにより変更される可能性があります。

《ホーム画面の例》



1 Googleアカウント
Googleアカウントボタンを押したときと同じ
2 おすすめ
3 映画
4 番組
5 アプリ画面
アプリのインストールや動作をさせることができます
6 ライブラリ
保存してあるファイルを観ることができます
7 検索
文字入力や音声で検索をおこなえます
8 設定
設定ボタンを押したときと同じ
9 アプリ
インストールされているアプリが表示されています

1 カーソルボタンで項目を選択する

2 選択した項目でまちがいないときは、決定 決定ボタンで確定させる

3 おすすめ番組の各プレビューを選択すると、アプリが立ち上がる
前もってアプリを立ち上げて会員登録など済ませておくと、スムーズに観ることができます。

4 ホーム画面に戻るときはホームボタンを押す

チューナーレステレビの操作

アプリの追加（インストール）

本機に初めから搭載されているアプリ以外に、アプリ画面からアプリをダウンロードして使用することができます。Googleアシスタント（音声検索）機能を使用するにはリモコンをペアリングする必要があります（➡25）。

1 **アプリ画面を選択する**

カーソルボタンでカーソルを移動させ、「アプリ」を選び、決定ボタンで確定させる

2 **アプリ画面からアプリを探す**

カーソルを下に移動させると、メニューが「アプリ（既にインストール済のもの）」「検索」「アプリのカテゴリ」.....に変わります。

「検索」でアプリ名を入力して検索することができます。

アプリによっては、本機ではインストールできない場合や、正しく動作しない場合があります。

「アプリのカテゴリ」でカテゴリ別にアプリを探すことができます。例えば音楽&オーディオのカテゴリで音楽アプリを探すことができます。

下には、おすすめのアプリが並んでいます。

3 **アプリを選択する**

アプリを選択すると、そのアプリの情報が表示されます。インストールするときはインストールボタンを押してください。

インストールするのに支払いが必要なアプリもあります。画面の指示にしたがって手続きを完了してください。

アプリによっては外部機器（コントローラなど）の接続が必要なものもあります。

アプリの削除（アンインストール）

使用しなくなったアプリを削除することができます。

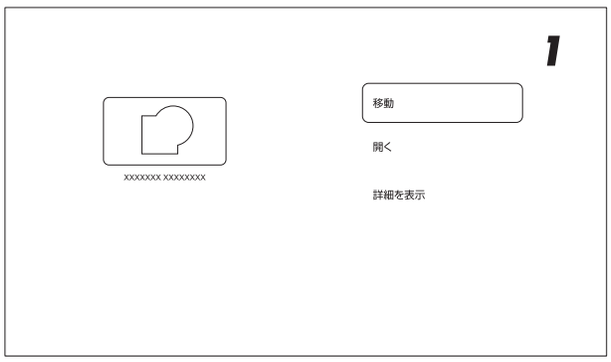
1 **アプリを選択し、メニューボタンを押す**

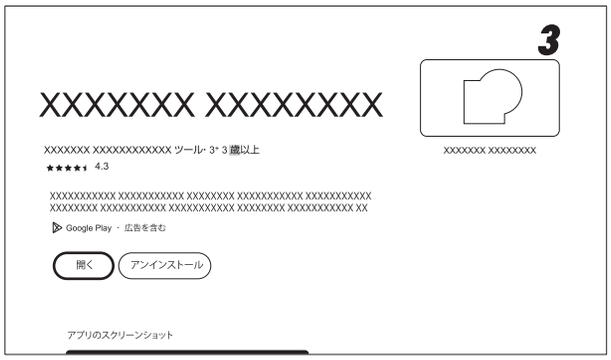
メニューが表示されます。

2 **「詳細を表示」を選び、決定ボタンを押す**

3 **「アンインストール」を選び、決定ボタンを押す**

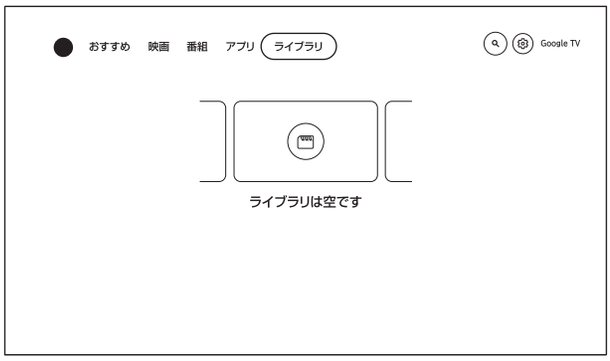
「詳細を表示」が表示されない場合、現在削除することができません。





ライブラリ

設定しているアカウントでレンタル・購入したコンテンツがここに表示されます。



映画・番組アプリなどを検索する

文字入力すると検索することができます。
リモコンのペアリングが完了している場合、Google アシスタントボタンを押してマイクに話しかけると検索することもできます。

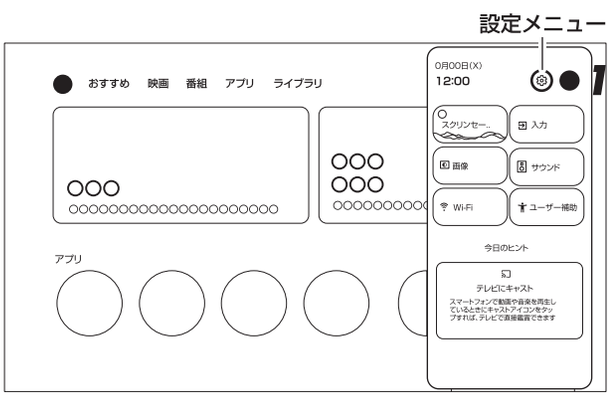
さまざまな設定

Googleテレビの環境設定をおこないます。
画面のデザインはOSのバージョンアップなどにより変更される可能性があります。

1 **ホーム画面から◎カーソルボタン右で設定メニューまでカーソルを移動、もしくはリモコンの⚙設定ボタンを押す**

画面右側にメニューが表示されます。

ここで表示されている、スクリーンセーバー、入力、画像、サウンド、Wi-Fi、ユーザー補助は、それぞれのボタンを押すことにより、設定メニューに入らなくても設定することができます。



2 **決定ボタンを押すと設定メニューが表示されるので、内容を選択して設定する**

◎カーソルボタン上下で選択し、〉方向ボタン右または決定ボタンでさらに詳細な内容を表示することができます。

3 **設定したあとは、←戻るボタン・◎カーソルボタン左で1段階ずつ戻る、もしくは⌂ホームボタンを押してホーム画面に戻る**

チューナーレステレビの操作

搭載されているアプリ

本機には最初から以下のアプリがインストールされています。

・TV(LiveTV)
外部入力に切り換わります。

・ヘルプ
GoogleTVの機能や操作方法の簡単な説明を見ることができます。説明は参考です。本機とは異なる場合があります。

・メディア (メディアプレーヤー)
接続したUSBメモリーの画像などを表示するのに使用します。

・マルチスクリーンシェア
スマートフォンのミラーリング機能でスマートフォンの画面を本機に表示します。
利用にはミラーリング機能に対応し、連携用アプリが導入可能なスマートフォンが必要となります。スマートフォンに専用のアプリをインストールする必要があります。

・NETFLIX
・YouTube
・PrimeVideo
・U-NEXT
・ABEMA
・TVer
・Hulu
・Disney＋
・YouTube Music

本書作成時点での表示内容をもとに説明しています。表示や動作についてはそれぞれアプリ･OSによるものなので、それぞれがアップデートされることにより、本書に記載してある内容から変更になっていることがあります。

便利な機能

スリープタイマーを使う

スリープタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、「スタンバイ」の状態になり、設定はOFFに戻ります。

1 ⚙設定ボタンを押して、設定メニューを表示させ、「システム」を◎カーソルボタンで選び、決定ボタンを押す

2 「電源と省エネ設定」を◎カーソルボタンで選び、決定ボタンを押す

3 「電源」を◎カーソルボタンで選び、決定ボタンを押す

4 「スリープタイマー」を◎カーソルボタンで選び、決定ボタンを押す

5 ◎カーソルボタンで、電源をオフにするまでの時間を選んで決定ボタンを押す

電源がオフになる約 2 分前にメッセージが表示されます。
キャンセルする場合は、決定ボタンを押してください。

省エネ設定をする

省エネに関するさまざまな設定をすることができます。

1 ⚙設定ボタンを押して、設定メニューを表示させ、「システム」を◎カーソルボタンで選び、決定ボタンを押す

2 「電源と省エネ設定」を◎カーソルボタンで選び、決定ボタンを押す

3 各項目を◎カーソルボタンで選び、決定ボタンを押す

電源オン時の画面

本機の電源を入れたときに表示する画面を設定します。

省エネツール

画面をOFFにする

無操作状態で設定した時間が経過したとき、電源が切れてスタンバイになります。

スタンバイになる機能を無効にするには、「画面のOFFにする時間」を「なし」にしてください。

電源

スイッチOFFタイマー

設定した時間が経過したとき、電源が切れてスタンバイになります。設定を「OFF」にするまで繰り返し動作します。

自動スリープ

無操作で設定した時間が経過したとき、電源が切れてスタンバイになります。設定を「使用しない」にするまで繰り返し動作します。

タイマー

自動的に電源をON/OFFにする時間を設定できます。

4 設定後、←戻るボタンを何回か押して元の画面に戻す

ディスプレイオフ機能を使う

画面を表示させず音の情報のみ必要とする場合、ディスプレイオフ機能を使用すると、バックライト LED などの消費電力が抑えられます。

1 ⚙設定ボタンを押して、設定メニューを表示させ、「システム」を◎カーソルボタンで選び、決定ボタンを押す

2 「電源と省エネ設定」を◎カーソルボタンで選び、決定ボタンを押す

3 「電源」を◎カーソルボタンで選び、決定ボタンを押す

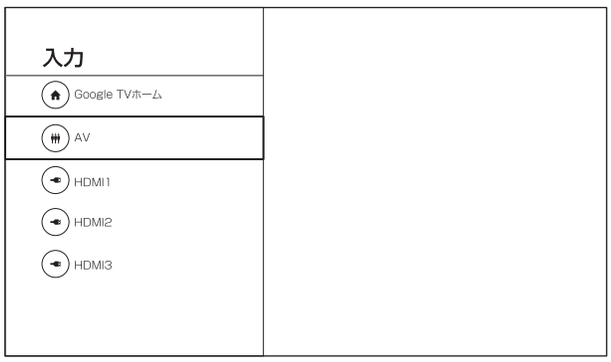
4 「画像OFF」を◎カーソルボタンで選び、決定ボタンを押す

5 再度画面表示させるときは、決定ボタンを押す

外部接続機器を表示する

入力切換をする

- 本機の外部入力端子（AV 入力、HDMI 入力）に接続したビデオや DVD・ブルーレイディスクプレーヤー／レコーダーなどの再生番組を見たり、ゲーム機を接続して楽しむ場合は、以下の操作をします。
- 機器の接続については、「映像機器・音響機器の接続」（➡ 21）をご覧ください。



1 **使用する外部機器の電源を入れる**

2 **入力切換ボタンを押す**

入力切換ボタンを押すと画面左に入力切換画面が表示されます。

3 **カーソルボタンで上下方向に移動し、接続している端子を選んで決定ボタンを押す**

- 接続する機器によって名称が変更されます。
- eARC／ARC対応機器は、HDMI1端子に接続してください。他の端子は eARC／ARCに対応していません。

4 **接続した機器を操作する**

- 対応している入力信号でも、映像が正しく表示されないことがあります。

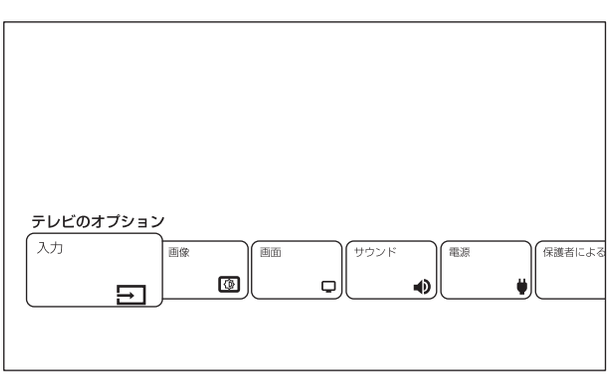
HDR 機能について

HDR（ハイダイナミックレンジ）対応機器からHDR10規格の映像が入力されると、自動的にHDRモードになります。

- HDR対応機器との接続には、18Gbps以上に対応したプレミアムハイスピード HDMI ケーブルを使用してください。
- HDRモードに切り換わると、画面左上に「HDR」と表示されます。
- ケーブルや接続機器の相性によってはHDRに切り換わらないことがあります。

メニューボタンから入力切換をする

外部入力画面（AV入力、HDMI入力）でメニューボタンを押すと、いくつかの機能が使用でき、その中に入力切換があります。



1 **メニューボタンを押す**

下部にサブメニューが表示されます。

2 **カーソルボタンで左右方向に移動し、「入力」を選んで決定ボタンを押す**

3 **入力切換画面が表示されるので、カーソルボタンで上下方向に移動し、接続している端子を選んで決定ボタンを押す**

Googleアシスタントの設定

Googleアシスタント機能を使用すると、声で操作することができます。Googleアシスタント機能を使用するにはリモコンをペアリングする必要があります。

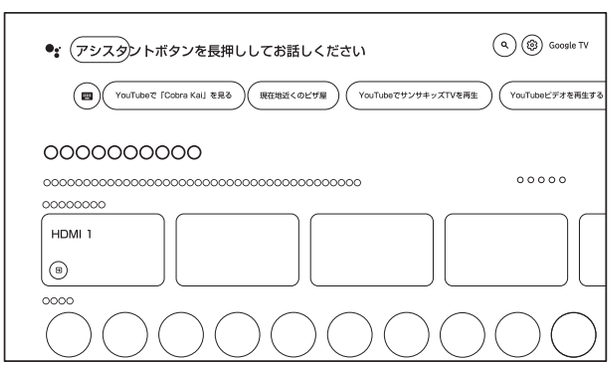
1 **右図のように、Googleアシスタントと音量－ボタンを同時に長押しする**

インジケータライトが点滅を始めたら、ボタンから手を離してください。

画面に「✔」が表示されたらペアリング成功です。

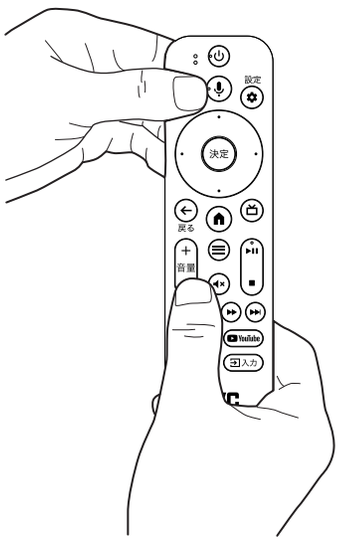
※本体とリモコンの距離は短めで操作してください。

2 **ペアリングが設定される**



3 **検索画面などでボタンを押す**

Googleアシスタント機能が使用できるようになります。



Bluetoothの設定

Bluetooth機器を接続して使用することができます。

「無線LANやBluetooth® を使う際のお願い」（➡9）もお読みください。

1 **設定メニューもしくは設定ボタンを押して、「リモコンとアクセサリ」を選択する**

2 **接続したいBluetooth機器の電源を入れて接続できる状態にして、「アクセサリのペア設定」を選択する**

Bluetooth機器を検索します。

3 **接続したいBluetooth機器の名前が表示されたら、Bluetooth機器の名前を選択する**

選択してしばらくすると、「Bluetoothペア設定リクエスト」画面が表示されるため、「ペア設定」を選択します。接続したい機器が表示されない場合は、接続（ペアリング）状態になっていないか、すでに他の機器に接続されている、または遠すぎるなどの可能性があります。

4 **「リモコンとアクセサリ」内に接続した機器名が表示されていることを確認する**

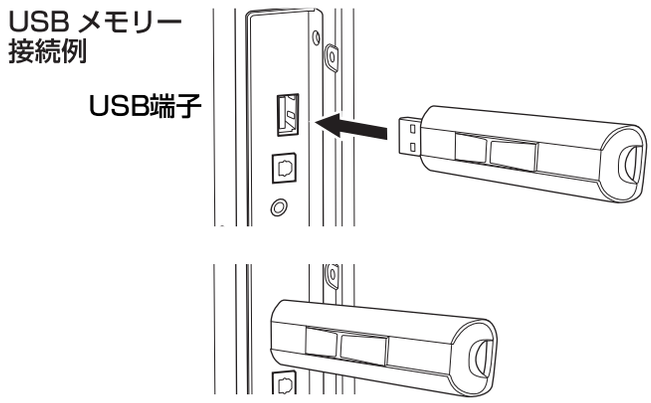
ご注意

- スピーカーやヘッドホン機器などを接続した場合、音量にご注意ください。思いがけない大音量に設定されていることがあります。

外部接続機器を表示する（つづき）

USBメモリーの閲覧

音楽・画像・動画を記録したUSBメモリーをUSB端子に接続すると、内容を閲覧・再生することができます。
「USBメモリーについて」（➡12）もお読みください。

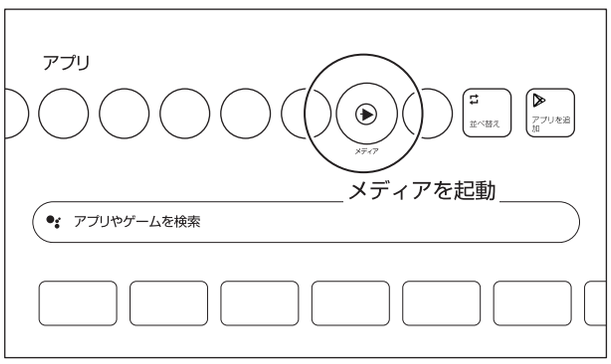


1 USB端子にUSBメモリーを接続する

2 「メディア」を起動する

3 「ドライブ」を選択する

※本機はSDカードに対応していません。



4 ファイルを探す

上の「動画」「画像」「音楽」を選択すると、同じフォルダ内の選択したファイルのみ表示されます。

《アイコンの例》

フォルダ　動画　画像　音楽

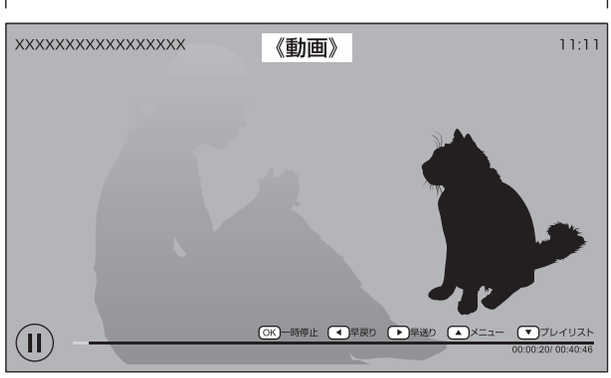
5 閲覧したいファイルを選択すると表示・再生が始まる

カーソルボタン(⌃ ＜ ⌄ ＞)と決定決定ボタンで操作してください。

ファイルの種別によって再生される画面が変わります。

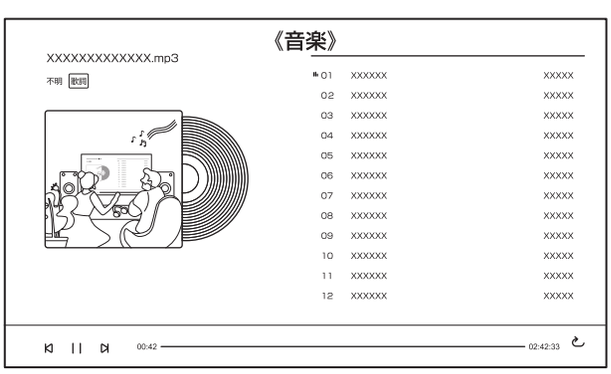
6 メディアを終えるには、ホームボタンを押してホーム画面に戻す

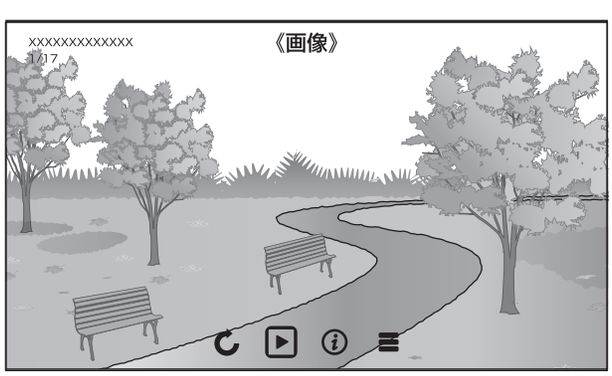
メディアを終了させてからUSBメモリーを抜いてください。



ご注意

- ファイル再生中のUSBメモリーの抜き挿しはしないでください。ファイル破損の原因になります。
- ファイル種別は、拡張子によって分別されています。万一適切ではない拡張子が付いたファイルを再生した場合、異音発生によりスピーカーの破損の原因になります。
- メディアのバージョンアップにより、画面のアイコンや操作方法が変わることがあります。





基本の操作

各種設定

設定できる項目

⚙設定ボタンで設定できる項目を示しています。本機搭載のシステムのバージョンアップなどにより、設定できる項目・名前が変化することがあります。

設定			内容
デバイス名の設定			
デバイス名の設定			本機のデバイス名の表示、変更ができます
チャンネルと入力			
入力	HDMI 4 (JL-50N4Lのみ)		入力切換画面での表示/非表示の選択、表示名の変更ができます
	HDMI 3		入力切換画面での表示/非表示の選択、表示名の変更ができます
	HDMI 2		入力切換画面での表示/非表示の選択、表示名の変更ができます
	HDMI 1		入力切換画面での表示/非表示の選択、表示名の変更ができます
	AV		入力切換画面での表示/非表示の選択、表示名の変更ができます
	HDMI制御		HDMI端子に接続した機器を操作できるようにします
		デバイスの自動電源オフ	本機の電源をオフ／スタンバイにしたとき、接続機器を電源オフにします
		テレビの自動電源オン	接続機器の電源をオンにしたとき、本機の電源をオンにします
	CECデバイスリスト		CECデバイスリストを表示します
ディスプレイとサウンド			
画像	画像モード		視聴する映像に合わせてお好みの画像モードを選べます
	バックライト		お好みに合わせて画面の輝度レベルを調節できます
	明るさ		お好みに合わせて見やすい明るさに調節できます
	コントラスト		お好みに合わせてコントラストを調節できます
	彩度		お好みに合わせて色の濃さを調節できます
	色調		お好みに合わせて色合いを調節できます
	シャープネス		お好みに合わせてシャープネスを調節できます
	詳細設定	色温度	色温度や赤緑青の色調をお好みに合わせて調節できます
		ドルビー ビジョンの通知	ドルビー ビジョン信号を受信したときに画面左上に通知を表示します（接続した機器やアプリの設定により、通知が出ない場合があります）
		DNR	現在のフレームと前のフレームの違いを比較して、画像の動的なノイズポイントを特定し、ノイズを低減します
		MPEG NR	同じフレーム内の隣接するピクセルのデータを比較して、画像のスタティックノイズポイントを特定し、ノイズを低減します
		最大ビビッド	(画像モードを「映画」に設定したとき)SDR画像をHDR表示に補正します
		Adaptive Lumaの制御	画像信号の輝度レベルを自動的に調節します
		ローカル コントラストの制御	画像の明るさを調節して、コントラストを上げます
		DI フィルムモード	フィルムソースの映像のとき、ラインごとの信号に補間してインターレース効果やジャダーなどを改善します
		ブルーストレッチ	画面をより白く見せるために青色の部分だけを強くします
		ガンマ	お好みに合わせて映像の明暗のバランスを調節できます
		ゲームモード	ゲームを楽しむときに遅延を短縮します
		ALLM	(HDMI入力のとき)HDMI接続で入力されたコンテンツに応じて、低遅延モードと高画質モードを自動的に切り替えます
		PCモード	PC信号に適した設定にします
		デカウンタ	画面のハレーションを抑えます
		MJC	動画のフレーム補正を行ないます
		HDMI RGB レンジ	本機に接続されたHDMI機器から出力される色階調レンジを設定します
		ロー ブルーライト	ブルーライトを軽減することができます
		色空間	色の再現範囲を調節します
		カラーチューナー	色の設定を微調整できます
		11ポイント ホワイト バランス補正	選択した画像の色温度に基づいてホワイトバランスをカスタマイズできます
	デフォルトに戻す		画面設定を含めたすべての画像設定をリセットします
画面	画面		画面サイズを、自動/フル/スーパーズーム/未調整/4:3/映画(14:9に拡大)/映画(16:9に拡大)に切り換えることができます ※外部入力で映像信号が入力されているとき
サウンド	サウンド スタイル		視聴する映像に合わせてお好みのサウンドスタイルを選べます
	バランス		左右のスピーカーの音量バランスを調節できます
	低音		低音をお好みに合わせて調節できます
	高音		高音をお好みに合わせて調節できます

次ページにつづく

各種設定（つづき）

設定			内容
サウンド	サウンド サラウンド		ステレオ音声をサラウンドで再生できます
	イコライザーの詳細		お好みでイコライザーのレベルを調節できます
	スピーカー		スピーカーから音を出力するか設定できます
	スピーカーの遅延		Bluetoothスピーカー接続時、音の遅延を調節できます
	eARC (JL-50N4L/JL-43N4Lのみ)		eARC 対応機器を接続時に設定します
	音量の自動調整		入力間の大きな音量差を自動的に調節します
	ダウンミックスモード		サラウンド音声をステレオ音声にダウンミックスするか選択できます
	ドルビー オーディオ処理	ドルビー オーディオ処理	ドルビーオーディオ処理の設定を有効にできます
		サウンドモード	お好みや視聴する映像に合わせてドルビーオーディオ処理のサウンドモードを選べます
		音量の均一化	音量を均一にすることができます （サウンドモードを「ユーザー」に設定したとき選択できます）
		サラウンド バーチャライザー	音に拡がり感を与えます （サウンド モードを「ユーザー」に設定したとき選択できます）
		ドルビーアトモス (JL-50N4L/JL-43N4Lのみ)	ドルビーアトモスのオン/オフを切り替えます
	ダイアログ エンハンサー		セリフを聴こえやすく調節できます （サウンドモードを「ユーザー」に設定したとき選択できます）
	デフォルトに戻す		オーディオ出力設定を含めたすべての音声設定をリセットします
オーディオ出力	デジタル出力		デジタル音声出力のフォーマットを設定できます
	SPDIF ディレイ		デジタル音声出力からの音声遅延を調節できます
ネットワークとインターネット			
Wi-Fi			Wi-Fi接続を有効にします
利用可能なネットワーク			現在利用できるWi-Fiを表示します
新しいネットワークを追加			Wi-Fiネットワークの名前を手動で入力して追加できます
データセーバー			動画の画質を自動的に調節します
データ使用量と通知		データ使用量(Data usage)	データ使用量を表示します
		通知(Data alerts)	設定した使用量を超えたときにお知らせします
常にスキャン			Wi-Fiがオフになっていても、Googleの位置情報サービスと他のアプリでネットワークをスキャンします
（イーサネット 接続済み/未接続）			有線ネットワークの接続状態を表示します
プロキシ設定			プロキシの設定をします
IP設定			IPアドレスの設定をします
復帰の設定 （Wake On LAN設定）		Wow	Wi-Fi を使って遠隔で本機を起動します
		WoI	有線 LANを使って遠隔で本機を起動します
アカウントとログイン			
設定のロック			アカウント設定をロックして設定を保護します
サービス			ログインしている Googleアカウントでおすすめコンテンツの選定に使用されるアプリを設定できます
コンテンツの設定			映画やテレビ番組を評価して、コンテンツのおすすめの表示精度を上げることができます
予告編の自動再生			番組と映画の予告編動画を自動的に再生するか設定します
非表示の購入またはレンタルしたコンテンツ			特定のコンテンツがライブラリに表示されないように設定できます
支払いと購入			本機でコンテンツを購入する時の認証方法を設定できます
Googleアシスタント			音声操作のオン/オフやGoogle検索の結果から「露骨な表現を含むコンテンツ」を除外するなどの設定ができます
アプリ専用モード			ホーム画面でおすすめコンテンツや見たいものリストの機能を非表示にできます
削除			アカウントを削除します
アカウントを追加する			本機で使用するアカウントを追加できます
子どもを追加			本機で使用する子どものアカウントを追加できます
プライバシー			
位置情報			Googleの位置情報サービスの設定ができます
使用状況と診断			デバイス、アプリ、Chromecast built-inの障害レポートや使用状況データなどの診断情報をGoogleに自動的に送信するか設定できます
広告			広告IDのリセット、削除ができます
Googleアシスタント			音声操作のオン/オフやGoogle検索の結果から「露骨な表現を含むコンテンツ」を除外するなどの設定ができます
お支払いとご購入			本機でコンテンツを購入する時の認証方法を設定できます
アプリの権限			アプリに割り当てられた権限が確認できます

設定			内容
特別なアプリアクセス			特別な権限が必要なアプリの確認や設定ができます
セキュリティと制限		提供元不明のアプリ	提供元不明なアプリのインストールを許可するか設定します
アプリ			
アプリをすべて表示			各アプリの表示、キャッシュの削除やアンインストールなどの設定ができます
アプリの権限			アプリに割り当てられた権限が確認できます
特別なアプリアクセス			特別な権限が必要なアプリの確認や設定ができます
セキュリティと制限		提供元不明のアプリ	提供元不明なアプリのインストールを許可するか設定します
システム			
ユーザー補助			
テキスト読み上げ			Googleの音声サービスの設定をします
ユーザー補助のショートカット			ユーザー補助機能のショートカットを有効にしている場合、戻るボタンと下ボタンの両方を3秒間押し続けると、選択したユーザー補助機能が起動します
字幕			字幕の設定をします。特定のアプリには適用されない場合があります
高コントラストテキスト			本機のフォントを見やすくする機能です
デバイス情報			
システムアップデート			ソフトウェアをアップデートします
デバイス名			本機のデバイス名の表示、変更ができます
リセット		出荷時設定にリセット	お買い上げ時の設定に戻します
ステータス			ネットワーク、シリアル番号などの情報を表示します
法的情報			ライセンス情報や規約を表示します
モデル			本機のモデル名を表示します
AndroidTVのOSバージョン			本機のOSのバージョンを表示します
AndroidTVのOSセキュリティパッチレベル			Androidのセキュリティを向上する目的でパッチ作業を実施した日付を表示します
カーネルバージョン			本機のOSのカーネルバージョンを表示します
AndroidTVのOSビルド			本機のOSのビルド番号を表示します
Netflix ESN			Netflixの端末番号を表示します
ソフトウェア バージョン			本機のソフトウェアバージョンを表示します
日付と時刻			日付と時刻の取得方法や表示形式を設定できます
言語			本機の表示言語を設定します
キーボード			スクリーンキーボードの設定をします
ストレージ			本機の内部ストレー ジ 、本機に接続している外部ストレージの情報表示やUSBデバイスの取りはずしをします
スクリーンセーバー			スクリーンセーバーの開始や設定をします
電源と省エネ設定	電源オン時の画面		本機の電源がオンになった時の画面を設定します
	省エネツール		無操作の状態が設定した時間を経過した時にスタンバイ状態にします
	電源	スリープ タイマー	本機の電源をオフにする時間を設定します 動作後、設定値はオフに戻ります
		画像 OFF	画面の表示をオフにします　決定ボタンを押すと元に戻ります
		スイッチ OFF タイマー	本機の電源をオフにする時間を設定します 動作後も設定値は記憶していて繰り返し動作します
		自動スリープ	無操作の状態が設定した時間を経過した時にスタンバイ状態にします 動作後も設定値は記憶していて繰り返し動作します
		スタンバイ　ライト	本機の電源がオフになった時の電源ランプを点灯／消灯に設定します
	タイマー	電源 ON のスケジュール	オンタイマーをオフ/オン/1回から設定できます
		自動的に電源を ON にする時刻	自動的に電源をオンにする時刻を設定します
		電源を OFF にする時刻の種類	オフタイマーをオフ/オン/1回から設定できます
		自動的に電源を OFF にする時刻	自動的に電源をオフにする時刻を設定します
キャスト			Wi-Fiに接続されているすべてのAndroidデバイスに通知を表示し、本機にキャストされているメディアの操作をそのデバイスに許可します
システム音			操作時のシステム音をオン/オフします
販売店モード			販売店での展示用の設定です
再起動			本機を再起動します
リモコンとアクセサリ			
アクセサリのペア設定			リモコンやBluetoothアクセサリのペアリング、接続解除などをすることができます
ヘルプとフィードバック			
ヘルプとフィードバック			Googleにフィードバックを送信、Google TVのヘルプサイトにアクセスします

各種設定（つづき）

設定できる項目（外部入力）

外部入力画面から(≡)メニューボタンで設定できる項目を示しています。
本機搭載のシステムがバージョンアップすると、設定できる項目・名前が変化することがあります。

設定			内容
入力			入力を切り換えます
画像	画像モード		視聴する映像に合わせてお好みの画像モードを選べます
	バックライト		お好みに合わせて画面の輝度レベルを調節できます
	明るさ		お好みに合わせて見やすい明るさに調節できます
	コントラスト		お好みに合わせてコントラストを調節できます
	彩度		お好みに合わせて色の濃さを調節できます
	色調		お好みに合わせて色合いを調節できます
	シャープネス		お好みに合わせてシャープネスを調節できます
	詳細設定	色温度	色温度や赤緑青の色調をお好みに合わせて調節できます
		ドルビー ビジョンの通知	ドルビー ビジョン信号を受信したときに画面左上に通知を表示します（接続した機器やアプリの設定により、通知が出ない場合があります）
		DNR	現在のフレームと前のフレームの違いを比較して、画像の動的なノイズポイントを特定し、ノイズを低減します
		MPEG NR	同じフレーム内の隣接するピクセルのデータを比較して、画像のスタティックノイズポイントを特定し、ノイズを低減します
		最大ビビッド	(画像モードを「映画」に設定したとき)SDR画像をHDR表示に補正します
		Adaptive Lumaの制御	画像信号の輝度レベルを自動的に調節します
		ローカル コントラストの制御	画像の明るさを調節して、コントラストを上げます
		DI フィルムモード	フィルムソースの映像のとき、ラインごとの信号に補間してインターレース効果やジャダーなどを改善します
		ブルーストレッチ	画面をより白く見せるために青色の部分だけを強くします
		ガンマ	お好みに合わせて映像の明暗のバランスを調節できます
		ゲームモード	ゲームを楽しむときに遅延を短縮します
		ALLM	(HDMI入力のとき)HDMI接続で入力されたコンテンツに応じて、低遅延モードと高画質モードを自動的に切り替えます
		PCモード	PC信号に適した設定にします
		デカウンタ	画面のハレーションを抑えます
		MJC	動画のフレーム補正を行ないます
		HDMI RGB レンジ	本機に接続されたHDMI機器から出力される色階調レンジを設定します
		ロー ブルーライト	ブルーライトを軽減することができます
		色空間	色の再現範囲を調節します
		カラーチューナー	色の設定を微調整できます
		11ポイント ホワイト バランス補正	選択した画像の色温度に基づいてホワイトバランスをカスタマイズできます
	デフォルトに戻す		画面設定を含めたすべての画像設定をリセットします
画面			画面サイズを、自動/フル/スーパーズーム/未調整/4:3/映画（14:9に拡大）/映画（16:9に拡大）に切り換えることができます ※外部入力で映像信号が入力されているとき
サウンド	サウンド スタイル		視聴する映像に合わせてお好みのサウンドスタイルを選べます
	バランス		左右のスピーカーの音量バランスを調節できます
	低音		低音をお好みに合わせて調節できます
	高音		高音をお好みに合わせて調節できます
	サウンド サラウンド		ステレオ音声をサラウンドで再生できます
	イコライザーの詳細		お好みでイコライザーのレベルを調節できます
	スピーカー		スピーカーから音を出力するか設定できます
	スピーカーの遅延		Bluetoothスピーカー接続時、音の遅延を調節できます
	eARC(JL-50N4L/JL-43N4Lのみ)		eARC対応機器を接続時に設定します
	音量の自動調整		入力間の大きな音量差を自動的に調節します
	ダウンミックス モード		サラウンド音声をステレオ音声にダウンミックスするか選択できます

設定			内容
サウンド	ドルビー オーディオ処理	ドルビー オーディオ処理	ドルビーオーディオ処理の設定を有効にできます
		サウンドモード	お好みや視聴する映像に合わせてドルビーオーディオ処理のサウンドモードを選べます
		音量の均一化	音量を均一にすることができます （サウンドモードを「ユーザー」に設定したとき選択できます）
		サラウンド バーチャライザー	音に拡がり感を与えます （サウンド モードを「ユーザー」に設定したとき選択できます）
		ドルビーアトモス (JL-50N4L/JL-43N4Lのみ)	ドルビーアトモスのオン/オフを切り替えます
	ダイアログ エンハンサー		セリフを聴こえやすく調節できます （サウンドモードを「ユーザー」に設定したとき選択できます）
	デフォルトに戻す		オーディオ出力設定を含めたすべての音声設定をリセットします
電源	スリープ タイマー		本機の電源をオフにする時間を設定します 動作後、設定値はオフに戻ります
	画像 OFF		画面の表示をオフにします 決定ボタンを押すと元に戻ります
	スイッチ OFF タイマー		本機の電源をオフにする時間を設定します 動作後も設定値は記憶していて繰り返し動作します
	自動スリープ		無操作の状態が設定した時間を経過した時にスタンバイ状態にします 動作後も設定値は記憶していて繰り返し動作します
	スタンバイ　ライト		本機の電源がオフになった時の電源ランプを点灯／消灯に設定します
保護者による使用制限	PINの入力	入力をブロック	暗証番号を設定して指定した外部入力の選択を制限します
		PINの変更	暗証番号を変更できます
詳細オプション	ブルーミュート		外部入力に信号が入力されていないとき、画面を青色にします
	無信号オートパワーオフ		無信号の状態が設定した時間を経過した時にスタンバイ状態にします
	オープンソース ライセンス		使用しているオープンソースライセンスを表示します
設定			設定メニューを表示します

アップデートのしかた

ソフトウェアをアップデートする

本機のソフトウェアは、機能の改善や機能の追加、セキュリティ対策のためアップデートが用意されます。

ご注意

- アップデートにはインターネット接続が必須です。
- アップデート中に電源を切ったり、電源コードをコンセントからはずさないでください。

1 **設定ボタンを押す**

画面右側にメニューが表示されます。

2 **カーソルボタンと決定ボタンで、「設定」→「システム」→「デバイス情報」→「システムアップデート」と選択する**

3 **「システムアップデート」で決定ボタンを押すと、アップデート確認が始まる**

4 **ダウンロード可能なデータがある場合は、画面の指示に従ってダウンロードする**

「お使いのシステムは最新の状態です」と表示される場合は、最新の状態のため、アップデートは必要ありません。

5 **画面の指示に従ってアップデートをする**

すべての情報を初期化する

出荷時設定にリセットする

本機のすべての設定を、お買い上げ時の状態に戻します。

1 **設定ボタンを押す**

画面右側にメニューが表示されます。

2 **カーソルボタンと決定ボタンで、「設定」→「システム」→「デバイス情報」→「リセット」→「出荷時設定にリセット」と選択する**

3 **もう一度「出荷時設定にリセット」を選択し「すべて消去」で決定ボタンを押すと、初期化が始まり、数分で完了します。**

故障かな？と思ったら

次のような場合は、故障ではないことがあります。修理をご依頼になる前に、もう一度ご確認ください。

症状	原因	対処方法
全般		
すべての操作を受け付けない	ソフトウェアのエラーや静電気の影響などで、誤動作している可能性があります	電源プラグを一度コンセントから抜き、電源コンセントに差し込んで、改めて電源を入れてください それでも操作を受け付けない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または「お客様ご相談窓口」にご連絡くだ絡ください
アプリが正しく動作しない	内部共有ストレージの空き容量が不足していて、アプリの動作が不安定になっています	設定→システム→ストレージ→内部共有ストレージで使用可能容量を確認してください 空き容量が不足している場合は、不要なアプリやデータを削除してください
電源が自動でオンになる	ネットワークとインターネットの復帰の設定の機能により、外部機器のアプリなどからの操作で電源が入っています	設定→ネットワークとインターネット→復帰の設定で、Wow、Wol、WoC の設定をオフに切り換えてください
リモコンで操作できない	Bluetooth 接続が切断されて、赤外線での操作になっています	設定→リモコンとアクセサリでリモコンの Bluetooth 接続が完了していることを確認してください
外部機器のアプリのリモコン機能などで本機の操作ができない	本機と同じネットワークに接続されていません	本機と外部機器が同じネットワークに接続されているか確認してください
	ネットワークとインターネットの復帰の設定がオフになっています	設定→ネットワークとインターネット→復帰の設定で、Wow、Wol、WoC の設定をオンに切り換えてください
ときどき「カチッ」や「ビューン」と音がする	本機はスタンバイ時各種情報取得や時刻修正などを自動で行なっています	不具合ではありません
ときどき「ジー」といった音がする	使用中の動作音、または背面の壁と間隔が短いと反射音が大きく聴こえることがあります	不具合ではありません 壁からの反射音の場合は、壁からの距離を十分にとってください
本体の上部や背面の温度が高い	長時間使用した場合、50 ～ 60° C ぐらいまで温度が上昇することがあります	不具合ではありません
本体の表面の温度が高い	長時間使用した場合、液晶バックライトの影響で 50 ～ 60° C ぐらいまで温度が上昇することがあります	不具合ではありません
画像、サウンドの設定メニューで選択できない設定項目がある	設定した内容によって選択できない項目があります	各種設定（➡35～39）を確認してください 画像・サウンドの設定で「デフォルトに戻す」を選択して設定をしなおしてください

映像		
映像も音声も出ない	電源プラグが、コンセントから抜けている可能性があります	電源プラグの接続を確認してください
	本体の電源が入っていません	電源ボタンを押して電源を入れてください
	異なる外部入力を選択している可能性があります	入力切換ボタンを押して入力切換をしてください
	外部機器が正しく接続されていません	外部機器の接続と電源を確認してください
音が出るが映像が出ない	外部機器が正しく接続されていません	外部機器の接続を確認してください
字幕が出ない	ご覧の動画には字幕がありません	字幕があるか動画の詳細を確認してください
	字幕の設定がオフになっています	字幕設定をオンにしてください
映像が停止したり、そのほか操作を受け付けない	ソフトウェアのエラーや静電気の影響などで、誤動作している可能性があります	電源プラグを一度コンセントから抜き、改めてコンセントに差し込み、確認・様子を見る

症状	原因	対処方法
音声		
映像は出るが音が出ない	本機のスピーカー出力がオフになっています	設定→ディスプレイとサウンド→サウンド→スピーカーをオンに切り換えてください
	音量が最小になっています	⊕音量＋ボタンで音量を上げてください
	🔇消音ボタンが押されています	再度🔇消音ボタンを押してください
	ヘッドホン端子にヘッドホンまたはイヤホンが接続されています	ヘッドホン端子を確認し、接続されているものをはずしてください
	音声接続されていない可能性があります	音声接続を正しく接続してください
HDMI接続		
映像が出ない・映像が乱れる・音声が出ない	正しく接続されていない可能性があります	形状を合わせ、奥まで正しく取り付けてください
	HDMIケーブルの一部製品では使用できないことがあります	別のケーブルを使用してみてください
	接続が正しくない可能性があります	本機および接続機器の電源のオン／オフをしてみてください
	対応信号に合っていない可能性があります（スクリーンサイズ・解像度・周波数など）（音声にノイズが入る場合でも設定が必要な場合があります）	接続機器の設定を対応信号に設定してみてください
HDMI連動が動作しない・正しく動作しない	本機のHDMI連動を正しく設定されていますか	設定→チャンネルと入力→入力のHDMI制御の設定を確認してください
	HDMI連動機器をつなぎ変えたり、取り換えた場合は正しく動作しないことがあります	設定→チャンネルと入力→入力のHDMI制御の設定を確認してください
	HDMI 連動機器が対応していない可能性があります	HDMI連動機器側の設定を確認してください
	接続しているHDMIケーブルが対応していない可能性があります	HDMI 規格に合ったケーブルを使用してください ・1080p の映像信号を入力する場合はHighSpeed対応品を使用してください ・HDR対応機器との接続には、18Gbps以上に対応したプレミアムハイスピードHDMIケーブルを使用してください。 ・ARC機能を使用するには ARC対応のケーブルを使用してください

主な仕様

型番			JL-50N4L	JL-43N4L	JL-32T4L	JL-32S4LW
画面サイズ			50V 型	43V 型	32V 型	
種類			チューナーレステレビ			
電源			AC 100V 50/60Hz			
消費電力	起動時		117W	91W	50W	
	待機時		0.4W (ネットワーク接続時などを除く)			
OS			Android™11			
メモリー	RAM		DDR　2GB		DDR　1.5GB	
	ROM		eMMC 16 GB			
無線 LAN 規格			IEEE802.11b/g/n (2.4 GHz) IEEE802.11a/n/ac (5 GHz)			
Bluetooth®	バージョン		5.0			
	対応プロファイル		A2DP, AVRCP, HID, HOGP			
音声	スピーカー		10 W+10 W		5 W+5 W	
液晶パネル	バックライト		LED			
	表示画素数		3,840 ドット × 2,160 ライン		1,366 ドット × 768 ライン	
	アスペクト比		16 : 9			
画面寸法（cm）			幅:109.6 高さ:61.6 対角:126.0	幅:94.1 高さ:52.9 対角:108.0	幅:69.8 高さ:39.2 対角:80.0	
ヘッドホン出力端子			1 系統 φ3.5　ステレオミニジャック			
ビデオ入力端子			(映像/音声)1 系統　ピンジャック			
HDMI 入力端子			4 系統 eARC/ARC 対応（HDMI1 のみ）	3 系統 eARC/ARC 対応（HDMI1 のみ）	3 系統 ARC 対応（HDMI 1 のみ）	
			CEC 対応、HDCP 対応			
LAN 端子			RJ-45 10BASE-T/100BASE-TX			
USB 端子			2 系統（USB2.0）			
光デジタル音声出力端子			1 系統 1 端子			
機能	プリインストールアプリ		Netflix、YouTube、PrimeVideo、GooglePlay、メディアプレーヤー、など			
	キャスト		Chromecast Built-in			
	音声検索		Google アシスタント			
	HDR		HDR10/HLG/Dolby Vision		HDR10/HLG	
	高音質		Dolby Atmos		–	
外形寸法	スタンドあり	幅（cm）	111.7	96.3	72.5	72.0
		高さ（cm）	70.2	60.9	47.4	47.0
		奥行（cm）	26.9	22.5	22.5	22.5
	スタンドなし	幅（cm）	111.7	96.3	72.5	72.0
		高さ（cm）	65.2	56.7	43.2	42.9
		奥行（cm）	9.2	9.0	9.4	9.0
重量	スタンドあり（kg）		9.0	7.0	4.0	3.8
	スタンドなし（kg）		8.8	6.9	3.9	3.7
VESA マウント			200mm×200mm			
	取付ネジ		上：M6×12 mm×2 本 下：M6×10 mm×2 本	上：M6×16 mm×2 本 下：M6×10 mm×2 本	上：M6×10 mm×2 本 下：M6×10 mm×2 本	
動作使用条件			周囲温度: 0～40℃ ／ 保管条件温度: -20～60℃ 相対湿度: 80 %RH 以下 （結露がないこと）			

主な仕様

リモコン	型番	FRM-300TV	FRM-302TV
	電源	DC3 V (単４形乾電池２本)	
	操作範囲（赤外線）	左右約 30°以内(5m 以内)	
付属品		リモコン×1 個、単４形乾電池×2 本、電源コード×1(50V 型のみ)、スタンド×2、スタンド取付用ネジ×4 本、取扱説明書(保証書付き)×1 部、転倒防止用フック×2、固定ネジ×2	

●仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。

●この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。

(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

保証書

保　証　書（表面）

本保証書は、本書に記載の内容（本書裏面の規定含む）で無料修理または無償交換をおこなうことをお約束するものです。

① 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または「お客様ご相談窓口」にご相談ください。
② 本書の★印欄に記入・押印のない場合は、お買い上げの販売店にお申し出ください。
③ 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
④ お客様にご記入いただいたご住所などの情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
⑤ この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
⑥ 本保証書は日本国内で使用される場合のみ適用されます。
This warranty is valid only in Japan.
⑦ 離島または離島に準じる遠隔地への出張修理をおこなった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
⑧ 修理のために、修理委託している船井電機に必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および弊社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、あらかじめご了承ください。

●ご販売店様へ

★印欄をご記入のうえ、お客様へお渡しください。

品名	チューナーレステレビ	型番	JL-50N4L　JL-43N4L　JL-32T4L　JL-32S4LW
★製造番号			
※お客様	（ふりがな） お　名　前 ご　住　所　〒　- お電話番号　(　　)　-		
★販売店	店　　名 住　　所 電話番号		
保証期間（お買い上げ日から）	本　体	1　年　間	★お買い上げ日　　年　　月　　日

見本

株式会社ヤマダホールディングス　〒370-0841 群馬県高崎市栄町 1 番 1 号

お客様ご相談窓口

固定電話からのご利用は 0120-055-271（通話料：無料）　携帯電話からのご利用は 0570-008-271（通話料: 有料）

● 販売店からの保証書レシートは、ここに貼り付けて保管しておいてください。

保証書レシート貼付

保証書（つづき）

保　証　書（裏面）

（表面もご覧ください。）

無料修理規定

（イ）取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに従った正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合には、本保証書に従い、無料修理いたします。ただし、製品の状態やその他の事情により、修理に代えて製品交換で対応する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

（ロ）次のような場合には、保証期間中でも有料修理あるいは修理が不可能な場合は、同等製品との有償交換となります。

① 本保証書のご提示がない場合。

② 本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名など必要事項の記入や押印がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

③ 使用上の誤り、結露や水濡れあるいは不当な改造、修理、加工による故障および損傷。（取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、責任を負いません。）

④ お買い上げ後の取り付け場所の移動、輸送、落下、衝撃などによる故障および損傷。

⑤ 業務用･商業用による使用や車両、船舶などに搭載して使用した場合に生じた故障や損傷。

⑥ 火災、塩害、ガス害（硫黄ガスなど）、地震、落雷、津波および風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因による故障および損傷。

⑦ 錆、カビ、過度な汚れなどによる故障や損傷。

⑧ 虫などの動植物や、タバコの煙、ゴミや埃などの異物混入による故障や損傷。

⑨ 天吊り、壁への埋め込みなど修理が不可能な場合。

⑩ LCD（液晶）パネル（画素欠けや常時点灯する画素）およびバックライト（焼き付き、輝度の低下など）の経年劣化による不具合。

⑪ 故障の原因が本機以外（通信・受信環境、あるいは接続している機器およびケーブル類など）の製品にある場合。

⑫ 予告なく変更や追加されるアプリケーションやコンテンツ、および電源電圧による不具合。（インターネットを使用して提供されるサービスは、予告なく休止したり、サービス自体が終了したりする場合があります。あらかじめご了承ください。）

（ハ）次の部品に関しては、1年保証の対象外となります。

消耗部品：乾電池

付属品：ケーブル、取扱説明書などの印刷物

（ニ）出張によるソフトウェアの更新は有料となります。

（ホ）当社に故意または重過失が存する場合をのぞき、当社は本機の使用または使用不能による付随的な損害に関して、保証・補償いたしません。

※ **環境保護などを推進するため、修理委託先である船井電機の判断により修理の際に再生部品または代替部品を使用することがありますので、あらかじめご了承ください。また、修理後、交換した部品は修理委託先である船井電機が任意にお引き取りさせていただきます。**

※ **製品交換となる場合にお届けする交換品は、修理委託先である船井電機にて分解、クリーニング、消耗・不具合部品の交換、再調整などおこなった新品同等の機械的、電気的に動作確認をおこなった交換製品となります。**

※ 本保証書にもとづく無料修理（製品交換含む）後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。

保証とアフターサービス

必ずお読みください

■ 保証書について

- 保証書レシートは、必ず「お買い上げ日･販売店名」などの記入をお確かめのうえ販売店からお受け取りください。
- 保証書裏面の「無料修理規定」をよくお読みください。
- 保証書レシートは、納品書や領収書と共に大切に保管してください。

製品本体の保証期間および保証の対象外となる部品に関しては、保証書に記載しています。

■ ご不明な点や修理に関するご相談

- この取扱説明書の「故障かな？と思ったら」に従ってお調べください。それでも解決しない場合には、お買い上げの販売店か修理委託先である「お客様ご相談窓口」までご相談ください。

■ 補修用性能部品の保有期間

- 修理委託先である船井電機は、この製品の補修用性能部品を製造打切り後８年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 部品について

- 修理の際に、修理委託先である船井電機の判断により、再生部品または代替部品を使用することがあります。
- 修理などで交換した部品は、任意で引き取らせていただきます。

■ 記録内容の補償について

- 記録媒体を搭載または使用する製品の場合は、故障または修理・交換により記録内容が消失などすることがありますが、記録内容の補償はいたしません。

※ この製品は、日本国内専用に設計されていますので、国外では使用できません。また、修理対応もできません。

■ 修理を依頼されるとき

- アフターサービスは株式会社ヤマダホールディングスの委託を受け、船井電機株式会社が対応しています。
- 不具合があるときは、電源をオフにし、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 転居や贈答品など、お買い上げの販売店にご依頼できない場合は、「お客様ご相談窓口」へお問 い合わせください。
- **保証期間中は**
  修理に際しましては、保証書をご提示ください。
  保証書の規定に従って、修理させていただきます。
- **保証期間が過ぎているときは**
  修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。点検・診断のみでも有料となることがあります。
- **修理料金のしくみ**
  技術料＋部品代＋出張料などで構成されています。
  ※修理のための製品の取りはずし・再設置は、販売店もしくはお客様でご対応をお願いします。
- 製品の設定（外部機器との接続・調整・取扱説明など）を依頼されると、有料となることがあります。
- **修理不可の場合**
  製品の状態やその他の事情により、修理に代えて製品交換で対応する場合があります。交換品は、新品同等の機械的・電気的に動作確認をおこなった交換用製品となります。なお、交換後の製品は、最初のご購入時からの保証期間が適用されます。

ご連絡いただきたい内容

- **お名前**
- **ご住所**
- **電話番号**
- **お買い上げ製品の型番**
  （この取扱説明書または保証書に記載）
- **お買い上げ製品の製造番号**
  （本機背面のラベルに記載）
- **お買い上げ日**
- **症状**（故障または不具合の内容）

相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

- お客様より船井電機株式会社およびグループ会社にお電話でお問い合わせいただいた場合には、正確にご回答するため、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。また、折り返しお電話させていただくときのために、「発信者番号表示」を採用しています。あらかじめご了承のうえ、お問い合わせください。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、サービス活動およびその後の安全点検活動のために、船井電機のグループ会社および秘密保持契約において厳正に管理された業務委託会社に個人情報を提供させていただくことがあります。

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。（2024年9月現在）

取扱説明書を読んでも使いかたがわからないときや、困ったときは・・・

まずは、**お買い上げの販売店へ**お問い合わせいただくか、

「サポート」ページ funai.jp/jvctv-funai/cs/

をご覧ください。製品の取り扱いに関するお役立ち情報が満載です。

- アフターサービスは株式会社ヤマダホールディングスの委託を受け、船井電機株式会社が対応しています。
- 転居や贈答品など、お買い上げの販売店にご依頼できない場合は、「お客様ご相談窓口」へお問い合わせください。
- 付属品のご購入に関するご相談は、「お客様ご相談窓口」へお問い合わせください。

お客様ご相談窓口

固定電話からのご利用は（通話料：無料）

0120-055-271

携帯電話からのご利用は（通話料：有料）

0570-008-271

受付時間　9：00～18：00（年末年始を除く）

※時間帯によっては、お電話が混み合ってつながりにくいことがあります。あらかじめご了承ください。

※FAXをご利用の方はこちらまで　FAX：06-6746-3374

愛情点検

- **長年ご使用の製品の点検を！**

（熱、湿気、ほこりなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか

- 映像や音がでない。
- 変なにおいがしたり、煙がでたりする。
- 内部に水や異物が入った。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

このようなときは、故障や事故防止のためスイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜き、必ずお買い上げの販売店にご連絡ください。

株式会社ヤマダホールディングス